



津市一身町2843
高田中・高等学校内
樹心会事務局
電話 059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
伊藤 清一

少し落ち着いたかと思われるコロナ騒動、しかし油断のできない毎日が続いておりますが、樹心同窓会会員の皆様方には益々御健勝の事とお喜び申し上げます。



ご挨拶
学苑長
梅林 久高

同窓の皆様方におかれましてはご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。私、今般、高臣前学苑長のご勇退に伴い、その重責を務めることになりました梅林です。微力ですが、学苑のさらなる発展、興隆のため全教職員と共に勇猛精進して参りますので、ご支援ご協力を賜ります様よろしく申し上げます。昨年(150周年)を迎え、新たに未来に向かってスタートするにあたり学苑長に就任することは大変

学苑では本年四月、梅林久高田

短期大学学長が、学苑長に就任され、高田短期大学学長には清水谷正尊先生(六年制平成元年卒)が就任されました。高臣文祥前学苑長には在任中永年同窓会の重要案件でありました財政の健全化に対し、多大なる御支援と御指導を頂きました。改めて心より御礼申し上げますとともに今後とも御指導いただきます様、お願い

光栄であると共に、身が引きしまる思いです。諸先輩達が築きあげられた輝かしい伝統と功績を尊重し、建学の精神であります仏教の教え、親鸞聖人の教えにもとづき人格形成の涵養と豊かな学力、体力向上の育成をめざしていく覚悟です。

同窓会の皆様の各分野での活躍は本学苑にとりましても名誉なことです。最近では、辻製油株式会社のご活躍が「おもてなしセレクション特別賞」を受けられました。誠にありがとうございます。

活気あふれる学生生徒さんの活動や学苑現況については、清水谷短大

します。

今年の四月に行われました統一地方選挙におきましては、舟橋裕幸さん(中三昭和四十六年卒)が三重県議会議員選挙津選挙区において八回目の当選を上位でされました。また続いて行われました津市長選挙においても、現職の前葉泰幸さん(中三昭和五十三年卒)が、大差で四回目の当選をされました。御両人の人格と日頃の実績が評価された結果であります。心よりお祝いを申し上げますとともに、今後益々のご活躍を期待しております。

昨年開学一五〇周年を迎えた学苑ですが、今年(今年)は又新しい歴史の始まりです。新学長、鷺尾中高等学校長よりのご報告をご高覧ください幸甚です。さてコロナ禍も五類扱いとなりましたが、自己管理をしていきたいものです。このコロナ禍により経済活動への打撃を始め、種々の分野に悪影響が出ました。教育現場においても同様であり、マスクで入学、マスクで卒業の世代もあり、コミュニケーションや人間関係作りが大変だったと思います。しかし授業では、ICT機器を導入し、オンライン授業の展開などは、対面授業とは異なる教育的効果があったのではないのでしょうか。ICT機器教育は今後ますます不可欠となる一方、その設備投資などのコスト面で肥大化する要

りとはばかり、後輩の活躍はめざましく、コロナの渦中にあっても、全国大会出場の多数の選手に激励金を交付し、優秀な成績を収めた個人、団体に祝金の贈呈を行いました。選手にはもちろんですが、ご指導頂いた先生方に心より敬意を表します。今年(今年)は高田本山におきましても、様々な重大行事が予定されており、若き日を思い出す良い機会にされたいと思っております。

昨年十二月七日樹心同窓会第一回ゴルフコンペを、前川事務局長のお世話により開催いたしました。四十四名の参加者があり、津市の青

素もありますが、生徒のためにより質の高い教育環境設備の充足は大切です。その活用の成果は先生方が日々研鑽してあげてくれることだと確信しています。

教育界も例外ではなく、少子化の問題です。厚生労働省は五十年後の日本の総人口が現在の約七割の八七〇〇万人に減少するとの「将来推計人口」を発表。人口の大幅な減少は、労働力不足となり経済活動の低迷につながり少子化でいいことはほとんどありません。すでに大学、短期大学が募集停止に追い込まれており高等学校の募集も厳しい現状になって行くでしょう。しかし、少子化を原因にして募集ができないとの

発想を捨てて、集まるようにするにはどうすればいいかその吸引力を考へることが問われています。「魅力」と「特色」ある学校、選ばれる学校でなければなりません。定石的ですが生徒・学生一人一人を大切に、その夢や希望の自己実現を支援し、保護者の方々や地域から喜んでいただける学校作りを喫緊の課題として取り組んでいきたいと思っております。皆様方のご支援を頂ければと思います。

山高原カントリークラブで楽しい一日を過ごしました。優勝は中森英夫さん(高三昭和五十六年卒)でした。参加者の多くの方々から、毎年開催してほしいとの声が強くなり、今年も十二月六日(水)に開催を予定しております。個人またはグループでの参加をお待ちしております。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。コロナにより開催することが出来なかつた樹心同窓会総会を今年こそは開催しなければと、八月六日に向けて準備をしております。是非多くの会員の皆様の御参加をお待ちしております。



最後に、今年の八月、久しぶりに樹心同窓会が開催されますので、ぜひご参加していただき、皆様との交流を深めることができますことを楽しみにしております。



ご挨拶

中高校長
鷲尾 尚史

同窓の皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育についてご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度の開校百五十周年記念式典に際しましては、多くの皆さまにご来校いただき、盛大に開催することができましたこと厚くお礼申し上げます。本校は次の二百周年に向けて新たなスタートを切りました。過去の歴史と伝統を尊重しつつ新しい高田中等高等学校を創っていく所存でございます。同窓の皆さまにはさらなるご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染



ご挨拶

短大学長
清水谷正尊

樹心同窓会会員の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、梅林久高前学長が学苑長になられた後を継ぎ、この四月から

症も三年目となり、学校行事も徐々にではありますがありますがコロナ以前の状態に戻りつつあります。校外宿泊学習(修学旅行)は、中学三年生、五年生、高校II年生すべて三泊四日、公共交通機関を利用して行いました。旅行先での感染が心配されましたが、大過なく行くことができました。中学生の比叡山校外宿泊学習(林間学校)は、新一年生と前年度行けなかった二年生が、それぞれ学年を二つのグループに分け、一泊二日の日程を四回繰り返し行いました。また、体育祭は昨年度も東西グラウンドを使用し二日間で学年ごとに行いました。文化祭は三年ぶりにクラス展示や模擬店を復活しました。模擬店では飲食スペースを別に設けるなどしっかりと感染対策をし、生徒の皆さんもよく協力してくれ無事に行うことができました。特に、高校III年生にとつてはクラス展示や模擬店を

行うことは入学後初めてであり、楽しんで参加してくれている姿がとても印象的でした。卒業式は昨年同様に感染拡大防止のため、来賓の方々と在校生の出席をなくし、卒業生と保護者、教職員のみで卒業生を送り出しました。III年生、六年生合わせて五百六十九名の卒業生がそれぞれの希望を胸に新しい世界へと進んでいきました。進学、就職の状況の詳細につきましては会報に記載されており、共通テストも二年目となり、出題傾向も大きく変化した大学入試でしたが、進路指導部を中心に対応し、また生徒もよく頑張り立派な進学実績であったと思います。近年の状況といましては、三年制からいわゆる難関国公立大学への合格者が毎年出ていることは非常に喜ばしいことであり、昨年度は大阪大学外国語学部や名古屋大学経済学部など多くの大

学に合格していきました。東京芸術大学美術学部にも合格した生徒もいました。また、六年制では名古屋大学医学部四名、三重大学医学部に十四名、慶應大学医学部に一名合格するなど難関国公立大学などで相変わらずの好成績を収め、進学校としての面目躍如といったところです。部活動では、コロナ禍のなか感染症対策を徹底して様々な大会が行われました。同窓会からも十クラブ五十名の生徒に奨励金を交付していただきました。全国高校文芸コンクールでは文芸部の女子生徒二名がそれぞれ詩部門、短歌部門で全国最優秀賞受賞し、また、中学放送部の作品がキッド・ウィットネス・ニュース日本大会で最優秀賞を受賞し、日本代表として世界大会に出場することになっています。詳細につきましては各部活動の報告をご覧ください。今年度につきましても、県

の高校総体や津市の春季中体連はすでに実施されており、また、現時点でインターハイなどの全国大会も開催される予定となっておりますので生徒の皆さんの活躍を期待しています。

今年度の募集では少子化の中、中学生二百六名、高校生四百二十六名の新入生を迎え定員を確保することができました。中学では一昨年から、高校では昨年から学習指導要領が改定となり、教科・科目が新しくなり、また、評価の方法も大きく変更になるなど多くの課題がありますが、生徒の皆さんのことを最優先にしながら対応しています。

得して、社会へと羽ばたいていきました。就職状況も好調で、就職率百パーセントを達成することができました。なかでも子ども学科では公務員(保育教育職)に三〇名が合格し、オフィスワークコースでも一名が公務員に合格しました。就職においてこのような成果を上げることができたのは、

が商品化されて販売も良好であるほか、湯元榊原館と連携協定を締結し、来訪者アンケートを行うなど、連携事業のバリエーションも広がりました。

本年度は、子ども学科一三七名、キャリア育成学科オフィスワークコース五七名、キャリア育成学科介護福祉コース三四名、合計二二八名

が商品化されて販売も良好であるほか、湯元榊原館と連携協定を締結し、来訪者アンケートを行うなど、連携事業のバリエーションも広がりました。

得して、社会へと羽ばたいていきました。就職状況も好調で、就職率百パーセントを達成することができました。なかでも子ども学科では公務員(保育教育職)に三〇名が合格し、オフィスワークコースでも一名が公務員に合格しました。就職においてこのような成果を上げることができたのは、

が商品化されて販売も良好であるほか、湯元榊原館と連携協定を締結し、来訪者アンケートを行うなど、連携事業のバリエーションも広がりました。

本年度は、子ども学科一三七名、キャリア育成学科オフィスワークコース五七名、キャリア育成学科介護福祉コース三四名、合計二二八名

が商品化されて販売も良好であるほか、湯元榊原館と連携協定を締結し、来訪者アンケートを行うなど、連携事業のバリエーションも広がりました。

得して、社会へと羽ばたいていきました。就職状況も好調で、就職率百パーセントを達成することができました。なかでも子ども学科では公務員(保育教育職)に三〇名が合格し、オフィスワークコースでも一名が公務員に合格しました。就職においてこのような成果を上げることができたのは、

が商品化されて販売も良好であるほか、湯元榊原館と連携協定を締結し、来訪者アンケートを行うなど、連携事業のバリエーションも広がりました。

本年度は、子ども学科一三七名、キャリア育成学科オフィスワークコース五七名、キャリア育成学科介護福祉コース三四名、合計二二八名

が商品化されて販売も良好であるほか、湯元榊原館と連携協定を締結し、来訪者アンケートを行うなど、連携事業のバリエーションも広がりました。

の新生を迎えてスタート致しました。なかでも介護福祉コースは多くなり、人間介護福祉学科開設以来、介護福祉コースに変更されてからも初めての学生数となりました。

四月には新生研修を、子ども学科は短大で、キャリア育成学科は白山ヴィレッジで行いました。入学して間もない時期ですが、どちらも学生たちは笑顔にあふれ、楽しそうに元気に参加していて、新生同士の親睦を深めることができました。

また本年度より、新システム「Active Academy Advance」を導入しました。これまでは「出席管理システム(TKS)」「学習管理システム(manaba)」「高短キャンパスネット」など複数のシステムを業務ごとに使い分けて運用してきましたが、老朽化によりセキュリティ面でも不安を生じる状況になりましたので、今までの全システムを刷新し、新システム「Active Academy Advance」に統合しました。これにより一つのシステムですべてをまかなうことができます。より学びやすく、そしてより教えやすくなるように、有効に活用していきたいと思えます。

さて、本年は五月二十一日から二十八日までの八日間、本学の母体である高田本山で開山親鸞聖人御

誕生八五〇年奉讃法会と立教開宗八〇〇年奉讃法会をはじめとした特別法要がお勧めされます。

そこで本学も、五月二十二日に宗祖降誕会として本山へ参詣することに致しました。親鸞聖人が誕生されて八五〇年が経った今年、宗祖降誕会を本山の五〇年に一度の大法会でお迎えできることは、本当に貴重な得がたい経験であり、学生たちにとっても何より心に残るものとなるでしょう。

親鸞聖人の生涯は波瀾万丈の生涯でしたが、それにも関わらず聖人は真実一筋に真っ直ぐ生きられました。それは何よりも、ご本願のみ教えに出遇われたからにほかなりません。そのみ教えを建学の精神とする本学でも、社会の荒波に揉まれても心が折れない、しなやかな「やわらか心」を持った、地域社会に貢献する人材を育成することを第一義に考え、教職員一同力を合わせて、課題に取り組んでいきたいと思っております。是非、皆様の変わらぬご理解とご支援を今後とも賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、昨年から津市のふるさと納税の寄付先に、本学を指定できるようになっています。学生の教育研究および教育環境の充実などに充てさせていただきますので、こちらの方も是非ご助力をお願い致します。

退任のご挨拶

高 臣 文 祥

同窓の皆さんにはお変わりなく元気に各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は今年の三月末をもちまして学苑の理事長・学苑長の職を退任致しました。十三年間の在任中には皆さんのご理解とご支援をいただき無事に勤めさせて頂けたと感謝の思いでいっぱいです。本当に有り難うございました。

昨年は学苑の開学百五十周年を迎え、コロナ禍の中ではありましたが規模をやや縮小したものの立派に挙行することができました。各方面の方々にご参加頂きましたことに改めて感謝致すところです。

活躍する同窓を代表して田村憲久代議士、前葉泰幸津市長、竹上真人松坂市長にご祝辞を頂戴し、そして何よりも前年に誕生した一見勝之三重県知事には記念講演を頂けるなど、まさに学苑の面目躍如たるものがありました。

また、学苑の教職員が全員協力してこの式典を成功に導いたことは、高田学苑の最大の強みとして次の五十年につながるものと確信したところです。

さて、私は一九七三年に学苑にご縁を頂いて以来五十年と長きにわたり学苑での教育活動に励んで参りました。その間に学苑の教育環境は施設設備の充実はもとより学生・生徒の活動実績においても大いに発展し、そのことを自らの目でつぶさに見てきましたし、そのことは衆目の認めるところです。

ところで今後の学苑の運営を考えると最も差し迫った深刻な課題は少子化の進行であると思えます。十年後の三重県の十五才人口は現在よりも約五千人減少する見通しです。そしてその後も回復することは期待できず減少し続けていくと予想されます。

高田学苑は中高・短大ともに現在の規模が最大の状態であると思えます。そこで私が願うのは、少子化が進行していく社会情勢においてその状況に合わせ

て規模を縮小する方向にはなく、あくまで現状の規模にこだわりそれを維持しさらに成長していくことを第一に考えて欲しいということですが。

このことは決して容易なことではないことは承知しています。そのためには、教職員一人一人が当事者意識を持ち、学生・生徒そして保護者が学苑に求める期待にどのように応えるか、高田学苑を選んで頂くために何をなすべきかと考えてそれぞれを持ち場で互いに協力し合いながら各自の責任を果たす事が肝要だと思えますし、高田学苑はそれができると信じています。

高田学苑が今後もさらに三重の教育をリードしていく存在であり続けることを願って退任のご挨拶と致します。



新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科・部署
- 三、趣味・特技
- 四、着任のことは

中・高等学校

一、永井 颯

二、進路指導部

三、音楽(ピアノ・バンド)

四、本年度より高田中・高等学校

国語科でお世話になっております。母校で教鞭をとらせていただき、身の引き締まる思いであります。私は大学院で臨床心理学を専門に学びましたが、その二年間で「臨床の技術よりも何よりも目の前のクライエントに真摯に向き合い、伴侶者となる覚悟で臨床に臨め。」と叩き込まれました。この基本的精神は、教員として働くうえでも重要なことだと思っております。今は授業準備だけでも大変というのが正直なところですが、単に教科指導が上手くできるようなるだけでなく、生徒に真摯に向き合い、生徒一人一人の伴侶者たりうる教員となることを目指したいと思っております。至らぬ点多々あるかと存じますが、より一層精進して参りますのでご指導

の程よろしくお願い致します。

一、逢坂 希

二、中学校一年生 副担任・国語

三、高校在学時より筆を演奏していただきます。読書、映画鑑賞、楽器演奏などが趣味です。

四、本年度より高田学苑でお世話になります。中学一年生の国語を担当しています。

着任して間もないですが、多くの先生にご指導いただき、少しづつではありますが日々成長を感じるとともに、教壇に立てることの楽しさも感じていきます。コロナ禍での大学生活では、ボランテアや教育実習を対面で満足に行うことが困難だったため、生徒と直接向き合うことの緊張感や楽しさを感じる機会も少なかったです。そのため、今感じているこの楽しさを忘れずに、今後も一生懸命努めてまいりたいと思っております。まだまだ至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることも多いですが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

一、南川 奈緒

二、保健体育・生徒指導部

三、スポーツ観戦・スノーボード

四、本年度より高田学苑でお世話に

なっております。歴史と伝統ある高田学苑で生徒たちと共に成長し、貢献できることをとても楽しみにしております。私立学校での勤務は初めてですが、高田学苑でしか得られない経験をさせていただけることに感謝しながら日々業務に携わっております。私は自己実現する上で前向きな挑戦や経験を大切に考えております。生徒たちの挑戦や経験する過程を全力でサポートしていきたいと思っております。私自身も新しいことに挑戦し、日々成長していくことで、生徒たちに自信を持って指導できるように努めていきたいと思っております。

これからは、皆様と一緒に協力し、生徒たちが自己実現し、夢を真剣に追いかけることができるよう尽力したいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

一、多田 一貴

二、保健体育・生徒指導部

三、サウナ・旅行に行くこと

四、本年度より、縁あって高田学苑でお世話になっております。担当教科は保健体育で、部活動はソフトテニス部の顧問を務めさせていただきます。

私自身中学校の時からソフトテニスを始め、高校進学時に地元の香川県から三重県の強豪校である、三重高等学校に進学しました。そ

の後、大阪体育大学に進学し卒業までソフトテニス漬けの日々を過ごしていました。その過程でたくさんさんの挫折を経験しました。

私はその経験から、思うように成果がでない人の気持ちがよくわかります。

子どもたちは、夢を持って進んでいきます。その手助けに尽力します。

よろしくお願いいたします。

一、佐波 真

二、仏教科 宗乗・余乗担当

三、写真撮影(風景写真)・ウォーキング・落語鑑賞・音楽鑑賞

四、様々な縁が重なり、母校に勤めることになりました。多くの方々、様々な出来事が、このようにつながっていく不思議を感じています。

校舎に入った、授業の準備をしたりしていると、高校生当時の授業が、浮かんできます。あれから随分分枝、すっかり忘れていたのに、鮮明に思い出します。やはり学び舎の雰囲気、変わりゆく中で変わらない伝統が、呼び起こすのでしょうか。

同級生と当時のことを話していると、仏教の授業をもう一度受けたいという事をよく聞きます。高校生と言え、多感で、身心共に大きく成長していく時期です。何気ない日常から、命や人生につ

いて考えることが多くなります。そんな中、仏教の眼差しが、その後の人生にとって大きな意味を持つてくるのです。あの頃の自分自身と共に、生徒の皆さんと仏教を学んでいきたいと思っております。

一、堀内 公子

二、国語・書道

三、洋裁・表具

四、今年度よりご縁を頂き、非常勤

講師としてお世話になっております。規模の大きい学校に驚くことも多々ありますが、周囲の方々に温かく教えて頂き感謝しております。

高校の言語文化と中学、高校の書道を担当させて頂いています。明るく、真直ぐに応答してくれる生徒たちに元気をもらっています。そして、そんな生徒たちに学ぶことの楽しさを伝えられるような授業を心掛けたと思っています。至らないこともあるかと思いますが、よろしくお願ひ申し上げます。

一、嶋垣 莉沙

二、社会科・女子サッカー部

三、スポーツ観戦

四、今年度より高田学苑でお世話になっております。担当教科は社会で、部活動は高校女子サッカー部の顧問を務めております。また、

みえ高田FC、小学生を対象としたスクール事業にも関わらせて頂いております。歴史と伝統があり、恵まれた環境で尽力できることに、喜びはもちろんのこと、何よりこのような機会を頂きました学苑長はじめ、学苑関係者の皆様にご心から感謝申し上げます。

常に学び続ける姿勢を忘れず、わずかですが四年の教員歴と二十年の競技歴を活かし、高田学苑の建学の精神の下、精一杯尽力してまいります。宜しくお願い致します。

一、清水谷 亮

- 二、庶務課
- 三、ドライブ・料理

四、本年度より、高田学苑でお世話になっております。普段は事務所で務めております。高田学苑は私の母校でもあるため、この場所での働くことをとても嬉しく思います。日々、先生方や生徒の皆さんと関わることで、沢山のことを学び、充実した日々を送っております。着任して間もないこともあり、至らぬ点もありますが、何卒よろしくお願いいたします。

一、大口 正典

- 二、学苑本部総務課
- 三、車中泊しながらの温泉巡り
- 四、本年度より高田学苑でお世話になっております。本年三月三十一

日まで、警備会社スリーエスの警備員として十八年にわたり、中・高等学校の防犯業務をさせていただいております。そうした中、諸事情で退職することになり、それを知った職員の方から「本学で働きませんか」とお声をかけていただき、嘱託職員として入職させていただいた次第です。警備員の間は、外側から携わってききましたが、これからは内側からとなり、身が引き締まる思いであります。慣れない仕事で悪戦苦闘の日々ですが、周りの職員の方に助けられ感謝しております。教職員の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

短大

一、古谷 淳

- 二、子ども学科
- 三、Jリーグ観戦・スキー
- 四、今年度より、子ども学科にて助教に着任致しました古谷淳と申します。短期大学では、主に子どもと言葉に関する授業を担当いたします。保育士を四年、専門学校で教員として四年勤務し、この度、奉職の機会をいただくことになりました。
- 人生で初めて三重県に住むこととなり、不安もありましたが、先生や職員の方はもちろんのこと、

学校周辺にお住いの地域の方々も大変心穏やかで優しく、本当に良くしていただき強く感謝を感じる日々を過ごしております。いつまでも大切にしたい三重県の人々に貢献できる保育者を育てるべく、今までの経験を役立てられたらと考えております。

力不足な点も多々あるかと思いますが、一生懸命努めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。

一、高臣 亮太

- 二、教務課・学生課
- 三、料理・釣り

四、今年度より大学事務局教務課・学生課に配属となりました。前職は、私立大学で勤務し主に教務関係の業務に就いておりました。これまでの経験を活かし、勉学に励む学生さんが有意義な学生生活を送るためのサポートができる職員を目指し努力してまいります。また、皆様と協力して本学の発展に貢献できるよう努めて参りたいと思っております。新しい環境に於いて戸惑うことも多々あると思えます。何卒ご教示くださいますよう宜しくお願いいたします。

一、倉田 まゆみ

- 二、キャリア支援センター キャリアアサポーター
- 三、水泳・お菓子・パン作り

四、四月からキャリアアサポーターとしてお世話になっております。私は約十年間公立幼稚園に勤務し、その後自宅で三十年間ピアノ教室をしてきました。私の今までの経験を生かして、未来ある子供たちを育てるお仕事に就かれる学生さんが希望する職場で輝いて勤務できるように一緒に就職に向かって取り組んでいけたらと思います。微力ではございますが全力を尽くしたいと思います。よろしくお願いいたします。

一、杉谷 美華

- 二、ボランティア活動支援室・学生相談室
- 三、旅行・物作り・茶道・華道・ボランテア

四、ご縁を賜り、母校である高田短期大学のボランティア活動支援室、学生相談室で勤務させていただくことになりました。現在、地域の放課後子ども教室のコーディネーター、保護司を兼任しながらの勤務となります。高短時代は貪欲に様々なボランティア活動に挑戦してみました。中でも、フィリピンの辺境でのワークキャンプの経験、学びは人生の糧となっています。これまでも、先輩の皆さんとは、地域のボランティア活動を一緒することも多かったのですが、それでも学風の様変わりを感じ、戸惑う毎日です。人生一〇〇年の

時代が視野に入ってきた今日、新しく入学したつもりで、新しいことにチャレンジし、学生の皆さんと一緒にボランティアの輪を作りながら、自分の変化を楽しみたいと願っています。私が在学させていただいていた頃と、温かい雰囲気は少しも変わっていませんでした。安心して楽しく勤務させていただけそうです。どうかよろしく願い致します。

一、伊東 秀幸

- 二、キャリア育成学科オフィスワークコース
- 三、野球観戦・観光

四、本年度より、キャリア育成学科オフィスワークコースの助教としてお世話になっております。「地域マネジメント論」「チームプロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ」「地域実践」の授業を中心に担当し、地域マネジメントや観光学、行動経済学を研究しています。

これまで、静岡県公立高等学校及び特別支援学校の教諭として勤務してまいりました。十二年間で赴任した学校と同様に、本学も学生のみなさんと喜びを分かち合い、ともに成長する楽しみを一段と得られる環境があります。

そして、幼い頃から三重県の風土を肌で感じて生活し、地元地域の短期大学に高い魅力を見出した本学の学生は、地域住民の宝です。

郷土愛を有する学生とともに地域マネジメントを進め、持続可能な地域づくりを目指します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

一、上山 由紀子

二、キャリア育成学科 介護福祉コース

三、山登り・お菓子作り

四、本年度より、介護福祉コースで

お世話になっていきます。幼稚園教諭、保育士、看護師として勤務し、

教員になりました。介護福祉コースは、様々な年代、国籍の方が学

んでいます。そのため、多種多様な考え方、価値観、時代背景から

学ぶことが多くあると思っています。

す。その中で、介護の基本である、

その人らしい生活の大切さを一緒に

に学んでいければと思います。それから、

確かな知識を身につけてほしいと思います。知識がないと

気づきになりません。介護職も「医療的ケア」と呼ばれる喀痰吸引等を

を一定の条件下でできるようにになりましたが、いつもと違うという

気づきを大切に、安全に実施できるように

したいと思います。学生さんから

「わかった」という笑顔を引き出せるよう、一生懸命努めていきたい

と思います。どうぞよろしくお

願いたします。

進路指導

高校進路指導部

高校入学から卒業までの3年間

ずっとコロナ禍を過ごし、体育祭・

文化祭・校外宿泊学習(修学旅行)

といった様々な教育活動に制限を強

いられた学年でしたが、令和5年3

月1日、三年制379名、六年制

190名、合わせて569名の生徒

が無事卒業の日を迎えることができ

ました。今春の卒業生と既卒者を含

めた、進路結果及び就職決定先がま

とまりましたので、ご報告いたしま

す。

〈進路状況〉

令和4年度の全体・三年制・六年制の進路結果は次の通りです。

令和5年度入試進路状況(延べ数)

令和5年4月

Table with columns for 3-year制 (I類, II類, 小計) and 6-year制 (現, 卒, 小計, 合計) for various university types like 国公立, 私立, etc.

○三年制

主な大学進学先

大阪大学

三重大学

名古屋大学

愛知県立大学

金沢大学

静岡大学

神戸大学

三重県立看護大

中央大学

愛知大学

中京大学

南山大学

名城大学

皇学館大学

鈴鹿医療科学大学

同志社大学

立命館大学

高田短期大学

29名

9名

6名

56名

66名

23名

10名

15名

7名

1名

2名

1名

2名

1名

○六年制

主な大学進学先

東京大学

京都大学

大阪大学

名古屋大学

北海道大学

東北大学

九州大学

神戸大学

三重大学

慶應義塾大学

早稲田大学

上智大学

明治大学

同志社大学

27名

12名

6名

19名

15名

25名(医学科14名)

2名

1名

1名

1名

8名(医学科4名)

9名

2名

4名

2名

1名

4名

2名



令和4年度の高Ⅲ・6年生は、最も学力を身につける時期である夏休み期間中にコロナの第7波に、そしていよいよ入試本番の時期を迎えた12月・1月に第8波に見舞われ、身心共に不安を抱えながらの受験になりました。しかし、このような逆境におかれても、生徒たちは、この3年間、また6年間本校で培った力を十分に発揮し、自らの夢の実現に向け数多くの合格を勝ち取ってくれました。昨年度入試のトピックスとしては、三年制からは、難関校である大阪大学・名古屋大学・神戸大学・東京芸術大学をはじめ国公立大学へ36名、中でも地元三重大学へは15名が合格したことが挙げられます。六年制からは、近年、多くの生徒が医学部を志望する傾向にあり、その影響で東京大学・京都大学への合格者数は減少しましたが、名古屋大学医学部医学科に現役生4名をはじめ、国公立大医学部医学科に27名、私立大医学部医学科に36名、計63名が医学部合格を果たし、例年通り県内では他を圧倒する結果を得ました。今年度も進路指導室では、生徒一人一人が満足のいく進路選択を行なうことができるよう丁寧に寄り添った指導に努めて参ります。



中・高部活動

■中・高男子柔道部

令和五年度部員数

中学生 二年生 一名 計一名

高校生 Ⅲ年生 一名

Ⅱ年生 四名

Ⅰ年生 五名

五年生 二名 計十二名

最近の諸大会成績(上位入賞のみ)

第七十二回三重県高等学校

柔道新人大会

男子団体 五位

第七十二回三重県高等学校

柔道選手権大会

男子団体 五位

平素は、学苑をはじめ、卒業生の皆様、保護者の皆様よりご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。今年度は、新入生五名を迎え、新たな顔ぶれでスタートを切りました。

昨年度は、Ⅲ年生が引退し、新入大会や選手権では惜しくも四位入賞を果たすことはできませんでした。しかし、春の選手権大会では軽量級が多い中で団体五位を維持することができました。今後は、さらに精進を重ねつつ、

全部員が学苑での生活で「文武両道」を成し遂げる「高田の柔道」を目指し、取り組んで参ります。今年度も変わらぬご指導、ご声援を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

■中・高文芸部

文芸部は、高校文芸部員九名と中文芸部員七名とが一緒に活動しています。昨年度も多くの全国大会に出場し、賞をいただきました。

○第四十六回全国高校総合文化祭東京大会(八月三日～五日)に、水沼慧風さんが短歌部門の三重県代表として出場しました。

○第十七回全国高校生短歌大会(短歌甲子園二〇二二)が七月二十七日～二十九日に盛岡市で開催され、長崎桃子さん、藤田沙羅さん、岸本花梨さんが出場し、本大会六回目的出場にして初めて、学校対抗の部で優勝しました。また、個人戦では三名とも決勝に進出し、岸本花梨さんは僅差で入賞を逃しましたが、長崎桃子さんは、話題作

品賞を受賞しました。○第四回万葉の郷とつとりけん全国高校生短歌大会が、鳥取市で開催され(十一月十三日)、佐藤桜さん、加藤晴香さん、治田優花さんの三名が出場しました。団体戦では惜しくも準決勝で敗退しました

が、パフォーマンス特別賞を受賞し、個人戦では加藤晴香さんが二つの審査員特別賞、江戸ゆき賞と小島なお賞を受賞しました。○第三十七回全国高等学校文芸コンクールでは、長崎桃子さんが詩部門で最優秀賞及び文部科学大臣賞を、岸本花梨さんが短歌部門で最優秀賞及び中日新聞社賞を、また詩部門で優良賞を受賞し、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた表彰式において受賞のスピーチを行いました。長崎さんは二年連続で最優秀賞を受賞し、本校文芸部においては、三年連続で詩部門最優秀賞に輝きました。

昨年度の成果によって、高田高校文芸部の知名度が上がり、全国大会に出場する度に声をかけられたり、交流を求められたりすることが多くなりました。これまで地道な活動を続け、後輩の指導をしてくれた卒業生のおかげと感謝しています。今年も多くの方に出場できるよう意欲的に取り組んでいきます。

■中・高放送部

高田中・高等学校放送部は、中高合同で活動しています。私達放送部は、大会やコンテストに向けての番組制作、学校行事や校外のイベントの運営・配信などを行っています。昨年度は、学校行事の生中継や録画、三重テレビへの出演や、NHK

のUtaiTubeHANDSFESでの司会など、校外のイベントでの司会進行や撮影を数多く行いました。これらの様々な活動を通して多くの人と関わりを持ち、成長することができました。また、コンテストでは、第六十九回NHK杯全国高校放送コンテスト県大会で、「テレビドキュメント部門最優秀賞」、「ラジオドキュメント部門優秀賞」、「研究発表部門優秀賞」、「アナウンス部門最優秀賞と優秀賞」を受賞しました。さらに、第六十九回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会では、「テレビドキュメント部門準優勝」、「ラジオドキュメント部門五位入選」、「アナウンス部門全国五位入選」が二人、「研究発表部門研究奨励賞」を受賞し、これまでにない成果となりました。また、KWNH本コンテスト二〇二二では、高校生部門で「Goodプラクティス賞」、中学生部門では、米ストローの番組で「最優秀作品賞【グランプリ】」、「Panasonic賞」、「ナイスプロモーション賞」を同時受賞しました。

今年度も引き続き、学校行事の円滑な運営やコンテストでの入選、優勝を目指していきます。そのために、放送部内のチームワークを強固なものとするため、ICT機器やアプリの活用など、工夫しています。そして、昨年度以上にクオリティの高い番組制作を行うため、一人一人の表現力や、撮影技術力、アナウンス

力の向上を目指して日々の練習の意識を高めています。樹心同窓会の皆さまには、いつもたくさんのご支援をいただき、とても感謝しています。今後は、学校内外に向けた情報発信や行事の運営を通じて、より多くの人々に貢献することができるよう、精一杯活動していきます。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

■中・高美術部

私たち美術部は、中学生十五人、高校生十七人の計三十二人で活動しています。新入生が中高合わせて九人入部しました。私学展や学内展示、公募展などへの作品発表、芸術系大学への進学を目標に、みなそれぞれ集中し頑張っています。

先日、部結成のミーティングを行い、学内展示の担当月を決めました。学内展示の作品は高田学苑のクラブHPに掲載していきますので是非ご覧下さい。また、この四月に本校美術部の卒業生(R四年卒)が最難関である東京藝術大学のデザイン科に入学しました。入部した頃から東京藝術大学を目指すといっていた彼女が努力して目標を達成したことは、在学生にも大きな励みになったと思います。彼女だけでなく、芸術分野を進路先に選択する生徒も増えてきています。今後は各々の表現力に応じた内容で活動の幅を広げていきたいと考え

ています。

ています。
最後に私学展は今年度も一月に行われる予定です、是非足を運んで頂けるとありがたいです。

■中・高箏曲部

箏曲部は現在、高校二十八名、中学十名の計三十八名で活動しています。月曜日から金曜日の放課後に練習があり、水曜日と金曜日には外部指導者の尾田香代子先生に来ていただき、指導をしていただいています。

今年度は、真宗高田派本山専修寺で五十年に一度の奉讃大法会を迎えることとなり、箏曲部も期間中に御影堂で演奏させていただきましたことになりました。現在はこの演奏会で全員の心を合わせた演奏できるように、毎日練習に励んでいます。

昨年度は、例年通り八月に三重県高等学校日本音楽演奏会に出場しました。高校一年生にとっては、この演奏会が初めての大きな舞台であり、不安や緊張、そして期待を抱きながら毎日練習に励んでいました。練習では部員全員が揃わなかったり、なかなか上手く合奏できないことも多く、本番が近付くにつれて部員も焦りを感じていました。しかし、指導者の尾田先生が根気強く教えてくださり、部員同士で声を掛け合いながら、心一つにして本番に挑むことができました。その結果、本番では部員全員が団結し、これまでで一番良い演奏

奏をすることができ、三位入賞という素晴らしい結果を残すことができました。その結果を受け、第四十三回みえ高文祭舞台部門に日本音楽部門代表として参加させていただきました。三重県総合文化センター大ホールで代表校の一員として演奏させていただきましたことは、部員全員の自信となる経験になりました。

部員達はこの経験から、全員が一丸となって団結する難しさと喜びを感じました。そして、何より仲間がいれば、その困難はきつと乗り越えることができるのだと学んだことと思います。

今年も八月に三重県日本音楽演奏会に出場します。全員で心を合わせた演奏ができるように、日々精進しています。今後も応援よろしくお願ひします。

箏曲部 顧問一同

■中・高俳句部

本校には、中学俳句同好会と高校俳句部があります。文芸部の活動の一つとして俳句に取り組む学校が多い中、「俳句部」という名前前で活動を行っているのは全国的に珍しいことです。この名前を守りながら、現在中高合わせて十一人で活動しています。

私たちの目標は、毎年愛媛県松山市で開催される全国高等学校俳句選手権大会、通称俳句甲子園の全国大会に出場し、成績を残すことです。

俳句甲子園はディベートによって勝敗が決定します。そのため、良句を創作することだけでなく、鑑賞し表現し、討論することにも重きを置いて練習に取り組んでいます。

俳句部は過去二十年間のうち、十五回全国大会に出場しました。そして、準優勝や第三位という成績を修めたこともあります。しかし昨年度は地方予選で敗れてしまい、全国大会出場を逃してしまいました。今年こそは全国大会に行く、松山という地で多くの質の高い句と出会いたい、このような気持ちを持って、部員全員と切磋琢磨して精進して参ります。

■中学軟式野球部

中学軟式野球部は、現在、三年生十人、二年生九人、一年生十二人の合計三十一人で活動しています。練習日は主に、月・火・水・金と土日のどちらかです。

チームとしての目標は県大会出場です。また、チームとして大切にしていることは技術面や体力面の向上もさることながら、人間的な成長やチームワークの向上を重視して活動しています。

部員のほとんどは中学から野球を始めますが、日々練習を積み重ねることで、試合にも勝てるように頑張っています。

胸に投げることの二つを意識しています。その後は内野ノックや外野ノックを行います。内野ノックでは、投げるときにステップや一歩目の動き出しを、外野ノックでは、ボールに対して後ろから入ることを意識しています。このように、一つの練習に、個々の課題やチームの課題、意識することを考えながら臨むことで、短い時間でも効率的な練習ができると考えています。土日の練習では、これらに加え打撃練習や実践練習などを多めに行います。

春季大会では、一回戦で久居中学校に敗れてしまいました。もうすぐ三年生にとっては最後の大会となる夏季総体です。県大会出場を目標としつつ、一つでも多く勝ち上がり、一日でも長くこのメンバーで野球がしたいです。そのためにも、残りの練習時間を無駄にせず、チーム一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

中学軟式野球部キャプテン
3a 濱口 瑛維部

■中学卓球部

私たち卓球部は、三年生二十一人、二年生十九人と、新たに一年生二十三人が入部し、合計六十三人と、という大人数で、楽しく真剣に活動しています。

私たちは、昨年度末に行われた予選を突破し、四月の県大会に出場することができました。県大会では惜

しくも初戦敗退となってしまいました。チームの全員がよい試合をすることができました。今年度も大会で大きな成績を残せるよう練習に励んでいきます。

私たちは、この部活動で二つのことを身につけることができました。一つ目は卓球の技術です。日々の練習を、顧問の先生の支えのもとで工夫することによって、技術の向上により早くつなげることができました。二つ目は社会性です。私たちに

は、活動中の練習メニューなどでは、活動中の練習メニューなどでは、見が異なることがあった場合、速やかに話し合いをし、よりよい方法を見つけられるチームワークがあります。課題はまだありますが、それを改善し、支え合って成長していきたいです。また、挨拶などにも気を配れるチームを目指していきたいです。

このように、私たちは卓球の技術を向上させるだけでなく、チームワークを形成することや礼儀を身につけることなど、多方面で成長していくことを目指しながら、楽しく活動することができています。三年生は残り二ヶ月で引退となるので、大会で好成績を残せるように、また、後輩達につないでいけるように、最後まで悔いのない努力を続けていきます。

部長 森田 レオン



■中学陸上競技部

中学陸上競技部は、男女合わせて五十三人が西グラウンドで活動しています。この二年間は、コロナウイルス感染症の影響もあり、中止や規模縮小となった大会もいくつもありました。そのため、モチベーションもなかなか上がらず、充実した部活動を行うことができず悔しい思いをしました。今年は、ほぼ全ての大会で従来通りの声出し応援が可能になり、雰囲気もさらに活気づいたものになっていきます。チームとしては一致団結して、日頃の練習にも集中力が増し、各自の目標達成に向けて全力で取り組むことができているように思います。

■中学馬術部

便さや息苦しさなどどんな困難にも打ち勝つてきました。一人で成し遂げられないことも仲間がいれば乗り越えられると信じています。残り私たちが陸上競技部員として活動する期間も限られてはいますが、和気あいあいとした雰囲気の中でもやるべき時はやる強い心を持って今後も突き進んでいきたいです。

■中学馬術部

昨年、短距離男子が4×1000mリレーで東海大会出場、長距離は津地区の駅伝大会において女子が十六年ぶりの優勝、男子が準優勝と好成績を収め、県駅伝に出場することができました。「チームの思いを一つに」をモットーにメンバー一丸となってバトンや棒をつなぎました。その東海大会、県駅伝では怪我や体調不良などで本来の力が発揮できず悔しい結果に終わってしまいました。なので今年は昨年できなかったことを成し遂げられるよう一層努力していきたいです。

中学馬術部は、四月に新入生八名を加え、三年生八名、二年生六名の計二十二名で二〇二三年度の活動を開始しました。近年、馬術部は中学生にとって人気があり、人数も多く、今年度も当番制で練習や馬の手入れを行っています。その中でも三年生は人数が多く、練習の時間や競技会に出場できる機会にも限りがありながらも、当番表の作成や部紹介など、すべきことを自ら考え、分担をし、行動に移す姿が見られており、成長を実感しています。二年生は後輩を指導する立場になりました。初めてできた後輩への接し方に戸惑いながらも、手入れや作業内容についてアドバイスをする生徒も出てきており、顧問としても、部活動中に限らず、困っている後輩に手を差し伸べることや、自分の言動を振り返り、改善することで、後輩にとってよき手本となれるよう努力することを、指導していきたいと考えております。

これから夏シーズンにかけて、記録会や大会も増えていきます。過酷な暑い日々の練習で心が折れそうになることもあるかと思いますが、それでも私たち五十三人はコロナ禍の不

ある「全国中学校馬術交流戦」が、福井工業大学付属福井中学校にて、コロナ前と同じ形で開催されました。コロナ禍においてもしっかりと練習を積み重ねてきた生徒達は、最高成績として、速歩部班競技とジムカーナ競技で優勝、駈歩部班競技にて準優勝という結果を勝ち取りました。一般の大会においても、「二〇二二SUZUKA DRESSAGE for amateur」、「二〇二二みえスポーツフェスティバル」、「二〇二三新春三重県馬術大会」などに出場し、多数入賞を果たしています。日々の練習が結果として表れるので、次の目標を立てる良い機会になります。一緒に活動している高校生から多くの刺激を受け取り、高いモチベーションを維持して活動に取り組んでほしいと思っております。

新型コロナ対策も緩和され、元通りの生活へと戻りつつありますが、生徒達にはコロナ禍での生活を忘れず、部活動を行えることのありがたさを噛み締めながら、日々の練習を大切にし、心身共に成長して欲しいです。その成長の軌跡として、交流戦を筆頭に、各大会での好成績等を来年度の樹心会報にてご報告できればと思っております。今後とも、応援の程よろしくお願い致します。



顧問

【令和四年度 中学馬術部成績】

※旧学級での記載となります。

●二〇二二春季三重県馬術大会

- 【二日目】
- STARTER CLASS I
- 第三位 長倉 万桜
- 小障害飛越競技C-1
- 準優勝 西岡 弘稀

●第四十九回中日本馬術大会 兼ジャンピングイン三重

- 【二日目】
- STARTER CLASS II
- 準優勝 長倉 万桜
- 第三位 水谷 さわ
- 小障害飛越競技C-II
- 第三位 長倉 万桜

●二〇二三SUZUKA DRESSAGE for amateur

- 【二日目】
- 馬場馬術競技A2課目
- 優勝 長倉 万桜
- 【二日目】
- 馬場馬術競技A2課目
- 優勝 長倉 万桜
- 第三位 長倉 万桜

●二〇二三新春三重県馬術大会 (二〇二三年一月)

- STARTER CLASS I
- 優勝 西岡 弘稀
- 準優勝 大井 伶麻
- 第三位 後藤 里緒
- STARTER CLASS II
- 優勝 西岡 弘稀
- 準優勝 大井 伶麻

●二〇二二みえスポーツ フェスティバル

- 【二日目】
- STARTER CLASS I
- 優勝 大井 伶麻
- 準優勝 後藤 里緒
- 第三位 長倉 万桜
- 小障害飛越競技C-1
- 優勝 長倉 万桜
- 準優勝 後藤 里緒

●令和四年度全国中学校馬術交流戦

- 速歩部班競技
- 優勝 野呂京乃花
- 準優勝 栗田 奈弥
- 駈歩部班競技
- 準優勝 平澤 空夏
- ジムカーナ競技
- 優勝 西岡 弘稀
- 第三位 水谷 さわ

■中学バスケットボール部

現在、中学バスケットボール部では男子が二十六名、女子が十九名の合計四十五名で日々練習しています。コロナ禍の影響も少なくなり、大会も以前と同じように制限なく執り行われるようになりました。何より、多くの保護者の皆様に試合観戦に来ていただけるようになったことが、嬉しく思います。

男女ともに中学からバスケットボールを始めた初心者がほとんどですが、今のチームは毎日継続して練習に参加できている部員が多いため、チームとしての一体感や練習の充実度は増していると感じています。

男子においては、二月に開催された津市一年生大会で三位になりました。機動力を生かしたプレーでディフェンスからリズムを掴むバスケットを目指しています。女子においては、綺麗なパスランでボールを繋ぎ、チームプレーを重視しています。男女とも、中体連での勝利を目指して日々の練習に取り組んでいます。

近年、県大会のオフィシャルを務めることが増えてきたこともあり、自分たちの試合だけでなく、他チームの試合管理をすることも多くなりました。このような経験を自分たちの試合にも生かしてもらいたいと思います。



■中学バレーボール部

現在、中学女子バレーボール部は三年生十人、二年生五人、一年生四人の計十九人で活動しています。公式戦で勝つことを目標に、日々生徒達は切磋琢磨して練習に励んでおります。ほとんどが未経験者で、公式戦では苦戦していますが、十二月の大会では接戦を勝ち抜き、県大会に出場することができました。県大会では初戦で敗退してしまいましたが、二セット目はシード相手に22-25と善戦し、生徒達には自信のつく試合になりました。生徒達の努力が実った瞬間に立ち会えたことが指導者としてとても嬉しく、県大会に連れて行ってくれた生徒達には感謝の気持ちでいっぱいです。

高校のバレーボールを題材とした人気スポーツ漫画「ハイキュー!!」の中に、「挑む者だけに、勝敗という標と、その莫大な経験値を得る権利がある。今日、敗者の君たちよ、明日は何者になる?」という屈指の名言があります。試合では必ず勝者と敗者がいます。敗者となると、それまでの努力が全て無駄になったような感覚に襲われることもあるでしょう。しかし、負けるということ

は、今何ができて何ができないのかを認識できる機会であって、弱さの証明ではありません。敗者になった後はどう行動するかで何者にでもなれる、という非常に勇気をもらえる名言です。スポーツや部活動は楽しいことばかりではありません。試合

で負ける以外にも様々なことで悔しさを感じます。しかし、その分成長でき、何者にでもなれるのがスポーツや部活動の醍醐味だと思っております。部活動に入ったからには、たくさんのことに挑戦し、成長して

いってもらえたら、指導者として嬉しく思います。最後になりますが、生徒達が部活動を楽しみ、たくさんのことに挑戦できるような環境を作れるよう、顧問として全力を尽くして参ります。今後ともどうぞよろしく願っています。

■中学サッカー部

こんにちは、中学サッカー部です。中学サッカー部にはスローガンが二つあります。一つ目は「賢く・鋭く・勇ましく」。二つ目は「印象・信頼・感謝」です。二つ設定している理由は「サッカーをしている時」と「サッカーをしていない学校生活の時」の目標を作ろうという想いから誕生しました。部活動とは学校生活の一部です。そのため、サッカー部では「印象・信頼・感謝」という三つの言葉を意識して学校生活を送っています。

明るい挨拶、身だしなみ、姿勢、明るい表情、返事、ものの管理などによって自分に対する他人からの「印象」が変わります。そして、それがサッカー部全体の印象となります。サッカーは十一人で行う信頼のス

ポーツです。普段の行動から約束を守る、時間を守る、嘘をつかないことで仲間や先生から「信頼」されるようになり、絆が生まれます。

友達、先生、コーチ、対戦相手、審判、保護者、サッカー用具そしてサッカーのできる環境に「感謝」しなければなりません。感謝するということは、他のことに対して思いやりを持つことにも繋がります。このスローガンを大切にし、サッカーというスポーツを楽しみながら良い結果を残していきたいです。

■中学なぎなた部

現在、十名で活動しています。昨年は七月にサオリーナで行われた全日本中学生大会の演技の部において、念願の全国制覇を成し遂げました。同大会の開催にあたり、沢山の卒業生の皆様、保護者の皆様、学校関係者の皆様にご協力いただきました。誠に有り難うございました。優勝という形で感謝の気持ちを表せたこと、心より嬉しく思います。また、長年本部を応援していただけています皆様にもきつと喜んでいただけたのではないかと思います。八月の錬成大会入賞、十一月に行われた東海大会の個人演技二冠も達成し、充実した一年となりました。今後より一層精進していきたいと思

います。

【主な戦績】

・第三十回JOCジュニアオリンピックカップ全日本中学生なぎなた大会 (令和四年七月 サオリーナ)

演技の部

優勝 九鬼希美・藤田結莉組
個人・団体の部出場
田中一葉・飯田 凜・樋口 碧

・令和四年度全国少年少女

武道錬成大会なぎなた競技 (令和四年八月 日本武道館)

中学演技の部

敢闘賞 木村早良・南谷咲恵組
中三女子個人の部
ベスト8 樋口 碧
中二女子個人の部
ベスト8 谷野 由依

・令和四年度東海なぎなた大会 (令和四年十一月 津市久居体育館)

中学女子個人 優勝 田中 一葉
三位 九鬼 希美

中学演技

優勝 九鬼希美・藤田結莉組
三位 木村早良・樋口 碧組

※ 尚、九鬼・藤田両選手は全国大会優勝の功績により、三重県スポーツ新人賞・津市スポーツ奨励賞を受賞し、三重県スポーツ協会・津市スポーツ協会・三重県なぎなた協会より優秀選手賞の表彰を受けました。



顧問記

■高校軟式野球部

軟式野球部の部員数は、現在二十九名です。部活だけでなく勉強も一生懸命に取り組むことができ、部員全員の仲が良く楽しく活動しています。

軟式野球部は、今年で創部から十三年目を迎えました。創部当初より「東海・全国で通じるチームをつくらう！」を合言葉に頑張ってきました。創部二年半で東海大会初出場を果たし、それから毎年東海大会に出場しています。

昨夏、第六十七回全国高等学校軟式野球選手権三重県大会で優勝し、東海大会に出場しました。東海大会一回戦では、名城大学附属高校と対戦し、延長十三回タイブレークという激戦の末7対1で勝ち、四度目の東海大会ベスト4を達成しました。

新チームとして迎えた秋季大会では、部員数十名にもかかわらず三重県大会で優勝、東海大会出場を果たしました。このような経験から、選手の手が精神力が高まり、チームの絆がより一層強まりました。活気に溢れた良い雰囲気、切磋琢磨しながら日々練習に励みました。

新年度となり、この春季大会では、津高校に七回コールド7×2で勝ち、リーグ戦に進出しました。リーグ戦一回戦は伊勢高校に2対0で、リーグ戦二回戦は津工業高校に5×対0で勝利しました。何度もピンチに見舞われましたが、最後まで粘り強く戦い、二勝を収めて早々と東海

総合体育大会出場を決めました。

しかし、現状に満足せず、さらに高みを目指します。春季大会リーグ戦最終戦も必ず勝利し、優勝すると誓います。守備からリズムをつくり、攻撃に勢いをつけてチャンスをものにし、夏季大会も必ず東海大会出場を果たします。信頼しあえる仲間たちとチーム一丸となって精一杯プレーし、目標を達成します。

これからも先輩たちが築いてきた伝統を絶やさずついでいきます。今後とも軟式野球部への応援を、どうぞよろしく願います。

■高校卓球部

令和五年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予選が行われました。結果は次の通り。

【シングルス・ダブルスの部 中勢地区予選】

四月二十二日 津市久居体育館

男子シングルスは、Ⅲ2テラスポレティーナ輝、Ⅲ2平松諒也、ⅢC西岡海星、Ⅱ3藤川航汰、ⅠF杉本健悟、Ⅰ2濱田太一が予選通過。

女子シングルスでは、Ⅲ3達知凛奈、Ⅲ4山田こなつ、ⅡE奥村菜由、ⅡB西村香澄、Ⅱ3石田有紀乃、Ⅱ3井上明日咲、Ⅱ2三宅愛葉、Ⅰ3田川陽彩が予選通過。なお三重県ランキング上位により、Ⅱ1橋爪一惺、Ⅲ1岩本佳奈、5C中川さらが地区予選免除での県大会出場となります。

た。

男子ダブルスは、Ⅲ2テラスポレティーナ輝・Ⅲ2平松諒也組、Ⅱ1橋爪一惺・ⅠF杉本健悟組、Ⅱ3藤川航汰・Ⅰ2濱田太一組が予選通過。女子ダブルスは、Ⅲ1岩本佳奈・Ⅲ3小倉乃娃組、Ⅲ4山田こなつ・Ⅱ2三宅愛葉組、Ⅱ3石田有紀乃・Ⅱ3井上明日咲、Ⅰ3田川陽彩・Ⅰ1宇仁彩芽が予選通過。なお三重県ランキング上位により、Ⅲ3達知凛奈・5C中川さら組、ⅡE奥村菜由・ⅡB西村香澄組が地区予選免除での県大会出場となりました。

【シングルス部の部 三重県予選】

五月三日・四日 三重交通Gスポーツの杜伊勢

男子シングルスは、Ⅱ1橋爪一惺が七位、ⅠF杉本健悟が八位、女子シングルスは、5C中川さらが第七位に入賞し、東海総体の出場権を獲得しました。

東海総体は六月十七日から静岡県袋井市にて開催されます。

■高校ソフトテニス部

男子はⅢ年生九名、六年生一名、Ⅱ年生六名、Ⅰ年生二名、四年生五名の計二十三名、女子はⅢ年生四名、Ⅱ年生四名、Ⅰ年生五名、四年生一名の計十四名で活動しております。技術の向上だけでなく、人間的に成長することを大切にして日々練習しています。

新型コロナウイルス感染症を気にしながらの大会が続いていましたが、今年度より声出し応援が解禁されました。男女が一緒に声を出して応援し、チーム一丸となって戦うという、コロナ前の雰囲気を取り戻しつつあります。そんな中、先日行われた春季大会では六年振りに男子団体五位入賞することができ、団体戦の醍醐味を味わうことができました。目標として掲げている『東海大会出場』まであと一つ。とても厚い壁ではありますが、あきらめずにチャレンジを続けていきます。先輩方が残してくれた伝統を引き継ぎ、よりよいチーム作りに今後も励んでいきたいと思っています。

現在私たちは第三体育館東側にあるオムニコート二面とクレイコート一面を使って練習しています。それ以外に、JR一身田駅近くのオムニコート二面を他の部活動と交代で使用しています。施設にも恵まれ、雨天でも練習ができるありがたい環境です。OB・OGの皆様、母校に立ち寄られる機会がありましたら、是非、コートまで足を運んでください。引き続き、応援よろしく願っています。

■高校馬術部

高校馬術部は、四月に中学校から継続の四年生四名、Ⅰ年生一名の新入生五名を迎え、Ⅲ年生一名、Ⅱ年生二名、五年生五名と合わせ、計十三名で二〇二三年度の活動を開始

しました。昨年度は、コロナ前とほぼ同様に大会や強化練習等が開催されました。生徒たちは東海大会や全国大会、国民体育大会等において好成績を残せるよう、日々の練習に励んでいます。

昨年度は五つの全国大会に出場しました。東海予選をなんとか四位で通過し、出場した夏の団体戦では、昨年一回戦で敗れた前年度優勝校の山辺高校（奈良）と再度対戦してリベンジを果たし、ベスト16に入ることができました。自馬選手権大会では、馬場と障害ともに団体優勝し、団体総合七連覇を達成することができました。個人では、吉永（三月卒業）が、夏の選手権でのベスト16や、茨城国体では二段障害での入賞に加え、出場した全三種目で入賞と、素晴らしい活躍を見せてくれました。その他の大会においても、選手権東海予選での優勝や東海王座での優勝、東海新人戦での準優勝をはじめ、一般の大会でも多数入賞と、好成績を数多く収めることができました。愛馬たちと積み重ねてきた日々が、この成績に繋がっていると思います。

昨年度の経験を糧として、今年も六月の東海予選、七月・八月の全国大会、十月の国民体育大会に加え、今年度は三重県で開催される十二月の自馬選手権大会の八連覇へと繋げていくことが重要です。一日一日を大切にし、悔いの残らないよう、全力

で取り組んでいってほしいと思っております。

日頃よりOBの皆様方には多大なご支援を頂きまして、部員・顧問一同大変感謝しております。新型コロナウイルス対策も緩和され、以前と同じ活動ができるようになりました。日々の練習・生活が当たり前ではないことを忘れず、周りの環境に感謝の気持ちをもち、馬術部の目標である「日本一の馬術チーム」を目指して、各大会での成績をご報告できればと思っております。今後とも、応援の程よろしくお願い致します。

【IIO】SUZUKA DRESSAGE for amateur

【第一日】

- ジュニアライダー馬場馬術課目 第四位 土肥 悠真
- 馬場馬術競技 L1課目 優勝 田中 萌
- 準優勝 濱地陽菜乃
- 第三位 河口 凜美

○馬場馬術競技 A3課目

- 準優勝 加藤 結衣
- 第三位 山下 泰芽

【第二日】

- ジュニアライダー馬場馬術課目 準優勝 土肥 悠真
- 馬場馬術競技 L1課目 優勝 田中 萌
- 準優勝 若林 美里
- 第三位 加藤 結衣
- 準優勝 山下 泰芽
- 第三位 岡庭 悠真

- 馬場馬術競技 L1課目 優勝 田中 萌
- 準優勝 若林 美里
- 第三位 加藤 結衣
- 準優勝 山下 泰芽
- 第三位 岡庭 悠真

【令和四年度 高校馬術部成績(一部抜粋)】

高校馬術部成績(一部抜粋)

※旧学級での記載となります。

●第七十二回三重県高等学校 総合体育大会馬術競技

- 障害飛越競技 男子個人 優勝 土肥 悠真
- 準優勝 渡邊 京祐

- 馬場馬術競技 男子個人 優勝 土肥 悠真
- 準優勝 渡邊 京祐

- 障害飛越競技 女子個人 優勝 吉川 綾音
- 準優勝 吉永真由子

- 馬場馬術競技 女子個人 優勝 吉永真由子
- 準優勝 田中 萌

- 団体総合 男子 優勝 渡邊・土肥
- 準優勝 吉永・田中・吉川

- 団体総合 女子 優勝 吉永・田中・吉川

- 少年 馬場馬術競技 ジュニアライダー 第四位 土肥 悠真
- 第五位 濱地陽菜乃

●第五十六回全日本高等学校 馬術競技大会

- 同率第九位 吉永・渡邊 吉川・若林 加藤・田中

●第三十三回全日本高等学校 馬術選手権大会

- 同率第九位 吉永真由子 出 場 渡邊 京祐

●第四十六回全日本ジュニア 障害馬術大会二〇二二

- 標準障害飛越 スピードアンドハンデイクス 第七位 出 場
- 障害飛越選手権 出 場 吉永真由子

●第七十七回 国民体育大会

- 少年二段階障害飛越競技 準優勝 第四位 第五位 吉永真由子
- タービー競技 準優勝 第四位 第五位 吉永真由子
- 少年リレー競技 準優勝 第四位 第五位 吉永真由子

●令和四年度東海高等学校 馬術王座決定戦

- 馬場馬術の部 優勝 土肥 悠真
- 障害飛越の部 第四位 山下 泰芽

- 団体総合 優勝 土肥・山下

●令和四年度東海高等学校 馬術競技新人戦

- 馬場馬術の部 優勝 岡庭 悠真

- 障害飛越の部 第四位 吉川 綾音
- 団体総合 準優勝 岡庭・吉川

●第四十九回中日本馬術大会 兼ジャンピングイン三重

- 【第一日】 ○小障害飛越競技C 準優勝 河口 凜美
- 小障害飛越競技B 優勝 濱地陽菜乃
- 準優勝 山下 泰芽
- 第三位 河口 凜美
- 中障害飛越競技C 第三位 吉永真由子
- 【第二日】 ○小障害飛越競技C 優勝 河口 凜美
- 準優勝 岡庭 悠真
- 小障害飛越競技B 準優勝 山下 泰芽
- 第三位 土肥 悠真
- 中障害飛越競技C 第三位 吉永真由子

- 小障害飛越競技A 優勝 山下 泰芽
- 第三位 渡邊 京祐
- 中障害飛越競技D 準優勝 吉永真由子
- 中障害飛越競技C 優勝 吉永真由子

- 小障害飛越競技A 優勝 山下 泰芽
- 第三位 渡邊 京祐
- 中障害飛越競技D 準優勝 吉永真由子
- 中障害飛越競技C 優勝 吉永真由子

- 小障害飛越競技A 優勝 山下 泰芽
- 第三位 渡邊 京祐
- 中障害飛越競技D 準優勝 吉永真由子
- 中障害飛越競技C 優勝 吉永真由子

- 小障害飛越競技A 優勝 山下 泰芽
- 第三位 渡邊 京祐
- 中障害飛越競技D 準優勝 吉永真由子
- 中障害飛越競技C 優勝 吉永真由子

●第四十九回中日本馬術大会兼 IIO SUZUKA ドレスージュ

- 【第一日】 ○ジュニアライダー馬場馬術課目 優勝 土肥 悠真
- 第三位 濱地陽菜乃
- 馬場馬術競技第3課目A 優勝 田中 萌
- 準優勝 吉川 綾音
- 第三位 吉永真由子
- 【第二日】 ○ジュニアライダー馬場馬術課目 優勝 土肥 悠真

●第七回全日本高校生 自馬選手権大会

- 馬場馬術競技第3課目A 優勝 濱地陽菜乃
- 準優勝 渡邊 京祐
- 馬場馬術競技 L1課目 優勝 吉永真由子
- 第三位 土肥 悠真
- 馬場馬術競技 準優勝 岡庭 悠真
- 第三位 土肥 悠真
- 馬場馬術競技 優勝 吉永真由子
- 第五位 山下 泰芽
- 馬場馬術選手権競技 準優勝 濱地 陽菜乃
- 小障害90cmクラス 優勝 濱地 陽菜乃
- 中障害110cmクラス 第三位 吉川 綾音
- 第八位 山下 泰芽
- 障害飛越選手権競技 第四位 吉永真由子
- 馬場馬術選手権競技 優勝 吉永・渡邊 土肥・濱地
- 障害飛越選手権競技 優勝 吉永・渡邊 土肥・濱地
- 団体総合 優勝 吉永・渡邊 土肥・濱地



■高校バスケットボール部

私たちバスケットボール部は、競争を楽しむことをモットーとし、それと共にチーム力を上げながら練習に励んでいます。今は、県大会出場を目標に日々競争に向き合っています。

練習メニューは毎日の基礎練習であるハンドリング練習、ドリブル練習は欠かさず行います。また、チームの強みと弱みを分析し話し合い、その日にするべき練習に重点をおき、臨機応変にメニューを考えています。私たちの強みであるカッティングを自分達のプレイスタイルとして定着させ、それを試合で実践し強みを活かすことが目標です。その目標を成し遂げるために、チーム全員一丸となって頑張っています。

バスケットボールは個人競争でなく、チームで戦います。そのため私たちが最も心がけていることは、声を出すことです。人任せにせず全員が意識して声出しをします。チームとしてまとまることで、一人一人の意識が重なることで選手の向上心が上がります。これはバスケットボールだけでなく全ての競技共通で通用します。小さいことの積み重ねがチームをより強くすると考えています。

今ようやく新型コロナウイルスの感染対策の規制が緩まりはじめ、以前より活動の幅が広がってきました。実践練習を増やし、一戦でも多く勝てるようこれからもいっそう競争を

楽しみながら活動していこうと思いをします。

■高校ハンドボール部

令和五年度、新入生も加入し、男子三十二名、女子二十二名の合計五十四名で活動しています。この時期、いつもハンドボールコートが小さく感じます。

さて、昨年度の活動報告ですが、非常に暑い夏を乗り越えて力をつけました。十一月に行われた新人戦、十二月末に行われた選抜大会三重県予選と、女子は格上相手に対し最後まで戦い抜き、男子は緊張と焦りで普段のプレーができない中で、男女ともに健闘はしたものの、一勝もあげることができず、生徒の中には悔し涙を流す姿も見えました。その悔しさを胸に、五月末に行われる、最上級生の集大成となる県総体へ日々精進しています。

また、今年の三月には、全国選抜大会が津市で行われ、その補助員として多くの生徒が主体的に動いてくれました。開会式や閉会式の司会や式典補助を高田高校が担当し、堂々とした姿でやり遂げてくれました。また、男子のハイレベルな試合を間近で見たことで、生徒たちの向上心に火がつき、日々の練習がより一層良くなるように行動しています。来

年三月には女子の全国選抜大会が同じく津市で行われる予定です。今年の女子ハンドボール部は生徒同士が積極的にコミュニケーション

をとり、上級生が少ないながらも団結力のあるチームです。男子ハンドボール部は雰囲気がとても良く、全員がチームのために行動できます。男女ともに応援されるチーム作りを胸にして、皆さんがこれまで守ってきたくださったハンドボール部を、これからもより向上心を持って素晴らしい部活動になるように精進して参ります。

もしお時間ございましたら、是非ハンドボールコートに足を運んでください。皆様の応援が活力となります。

■高校サッカー

顧問 若林 広繁

高田高校男子サッカー部は、今年度で創部三十年目を迎えることになりました。先日の県総体予選にて津東高校に敗戦し、三年生二十名が引退しました。現在、二年生二十四名、一年生二十二名の計四十六名で活動

しています。新チームは、文武両道を掲げ、勉学に励みながら、勝負にこだわっていきけるよう再出発していきます。チームの目標である「不撓不屈」をモットーにし、県内の強豪校に打ち勝てるようなチーム作りを目指して日々練習に励んでいます。昨年度、男子サッカー部は三重県サッカーリーグ三部リーグ十四チーム中四位という成績となり、二部リーグ昇格できませんでした。昨年度の悔しさを糧に、今年度の部員達もまず

は「二部リーグ昇格」を目標にしています。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となり、全力で勝利を目指していきます。今後、今まで以上の好成績を残していけるよう指導に励んでいきたいと思っています。

また、女子サッカー部は昨年度の三重県高校女子サッカー選手権大会において神村学園伊賀分校に1-0と勝利し、優勝しました。東海大会では残念ながら豊川高校に敗れてしまい、全国選手権大会に出場することはできませんでしたが一月の三重県高校女子サッカー新人大会では決勝戦で三重高校・稲生高校合同チームに勝利し、新人大会初優勝を飾ることができました。現在女子サッカー部は小澤亮二新監督の下、十四名で活動しています。日々、県大会連覇に向けて練習に励みながら、全国の強豪チームと多くの試合経験を積んでいます。

本学サッカー部は、誰からも応援されるチームになるため、チームの一員として何事も全力で勝ちにいく闘う姿勢、他者を思いやり感謝する気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ちを大切にしながら、「全員サッカー」を発揮できるチーム作りを目指しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いつそこの努力を忘れず、部員、指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご声援の程よろしくお願

いします。

■高校なぎなた部

現在十四名で活動しています。昨年は、悲願の一つであった東海総体総合三連覇・個人団体二冠を達成しました。また、インターハイでは赤塚選手が、全国選抜大会では山村選手が個人でベスト16に進出しました。

インターハイの団体出場権を取れず、悔しい思いをしましたが、全国選抜を進めました。今年は、飛び抜けた選手がいらないものの、小菅主将の最も高いチームワークを武器に総合力で全国制覇を目指しています。新入生も加え、高い意識と集中力で日々充実した稽古を行っています。県総体では全種目制覇、東海総体では総合四連覇を目指して頑張ります。

顧問記

【主な戦績】

・令和四年度東海高等学校

総合体育大会 (令和四年六月 名古屋市)

女子個人

優勝 赤塚未悠

三位 小菅桃奈

団体

優勝 川村璃乎・橘奏海

赤塚未悠・小菅桃奈

山村愛奈・川崎星良

令和四年度全国高等学校

総合体育大会

(令和四年八月 香川県)

個人の部

ベスト16 赤塚未悠

令和四年度三重県高等学校

新人なぎなた大会

(令和四年十一月 皇学館高校)

女子個人試合の部

二位 小菅桃奈

三位 山村愛奈・竹尾珠希

令和四年度全国選抜大会

東海ブロック枠決定戦

(令和五年一月 大垣市)

団体

優勝 小菅桃奈・山村愛奈

竹尾珠希・和泉陽葵

高北凜

第三十一回全国高等学校

なぎなた選抜大会

(令和五年三月 伊丹市)

女子個人

ベスト16 山村愛奈

ベスト32 小菅桃奈

団体

出場 小菅桃奈・山村愛奈

竹尾珠希・和泉陽葵

高北凜

■高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。高校から新体操を始めます。昨年度に続き今年度も全国大会出場経験のある部員を迎えることになりました。現在も、現役選手として一線で活躍している堀先生による指導の下、個人のみならず団体でのインターハイ出場に向けて練習に打ち込んでいます。今年度のインターハイは、北海道で開催される予定となっています。

最後になりましたが、新体操部OBの皆様の心暖かな応援ありがとうございました。今後も、各種大会において、審判等をお願いをさせていただいております。また、お時間がありましたら、第三体育館の常設フロアや大会を見に来ていただきたいと思っております。

■高校バトン部
私たちバトン部は、一年生二十四人、二年生十六人、三年生十二人の計五十二人で活動しています。主に個人大会、団体演技に向けて日々練習していますが、文化祭や地域のイベントでの演技披露、野球応援などもしています。

■高校天文部
高校天文部は、科学部地学班(中学校)と合同で、三号館4Fのプラネタリウムで毎週三日程度活動しています。おもな活動内容は、プラネタリウムを用いた天体・星座の学習や、校舎内にある天体ドームでの月・星の観察です。また、季節ごとや、物語に乗せたプラネタリウム解説のシナリオを作成し、校内や文化祭で発表したりして、和やかに楽しく活動しています。

■高校書道部
本年度は十二名が入部し、二十七名でスタートしました。普段の活動は、展覧会に向けた作品制作や文化祭での書道パフォーマンスを行っています。作品制作では、半紙サイズの小さな紙から二メートル以上の大きな紙にも揮毫します。

■高校新体操部
なつた時の達成感やバトン部に入部しなかつたら体験出来なかつたことだと思えます。昨年まではコロナウイルス感染症対策としてさまざまな制限があったり、夏休みには体育館が使えなかつたりと思うように練習できないこともありましたが、しかし、たわいもない話をしたり、時には意見を出しあつて、部員同士で切磋琢磨し、私たちの目標である団体演技の東海大会で金賞をとることを目指して日々練習を重ねています。

■高校書道部
この三年間は新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの活動を休止せざるを得ませんでした。しかしながら、令和五年三月に行われた、三重県立みえこどもの城での『高校生☆プラネタリウムコンテスト』に生杉仁美さん(高校四年a組)と樊 燕菲さん(高校

■高校演劇部
現三年生(旧年度二年生)は、一つ上の先輩がいない状態です。活動してききました。先輩がいないため手探りでの活動が続きましたが、努力を惜しまない部員たちです。そんな彼女たちは「群青アクリウム」という作品で七月に行われた地区大会を突破、九月に行われた県大会では最優秀賞・三重県知事賞・創作脚本賞を受賞しました。トリプル受賞は十年ぶりのことです。その結果出場が叶った、十二月に岐阜県で行われた中部日本高等学校演劇大会では奨励賞を受賞しました。この大会ではどなたでも観劇できる環境が整い

■高校演劇部
活動日には、真剣に作品に向き合う部員の姿を見ることが出来ます。一方で、和気藹々とした様子も多く見られ、先輩後輩関係なく部員同士、非常に仲がいいことも特徴です。昨年は、第三十一回国際高校生選抜書展(書の甲子園)にて十五名が入賞・入選し、団体の部で東海地区優勝に輝きました。念願の地区優勝ということで部員一同喜び合いました。書道の魅力は本当に奥が深く、たとえどれだけ学んだとしても尽きるものではありません。その魅力は今後は多くの人に伝えていけるように頑張りたいと思っております。最後に頑張りましたが、部員、指導者ともに日々努力を重ねていきますので応援のほど宜しくお願い致します。

■高校演劇部
活動日には、真剣に作品に向き合う部員の姿を見ることが出来ます。一方で、和気藹々とした様子も多く見られ、先輩後輩関係なく部員同士、非常に仲がいいことも特徴です。昨年は、第三十一回国際高校生選抜書展(書の甲子園)にて十五名が入賞・入選し、団体の部で東海地区優勝に輝きました。念願の地区優勝ということで部員一同喜び合いました。書道の魅力は本当に奥が深く、たとえどれだけ学んだとしても尽きるものではありません。その魅力は今後は多くの人に伝えていけるように頑張りたいと思っております。最後に頑張りましたが、部員、指導者ともに日々努力を重ねていきますので応援のほど宜しくお願い致します。

■高校天文部
今年度も、私たちらしく笑顔で全力で頑張っていきます。応援よろしくお願ひします。

■高校書道部
本年度は十二名が入部し、二十七名でスタートしました。普段の活動は、展覧会に向けた作品制作や文化祭での書道パフォーマンスを行っています。作品制作では、半紙サイズの小さな紙から二メートル以上の大きな紙にも揮毫します。

■高校演劇部
現三年生(旧年度二年生)は、一つ上の先輩がいない状態です。活動してききました。先輩がいないため手探りでの活動が続きましたが、努力を惜しまない部員たちです。そんな彼女たちは「群青アクリウム」という作品で七月に行われた地区大会を突破、九月に行われた県大会では最優秀賞・三重県知事賞・創作脚本賞を受賞しました。トリプル受賞は十年ぶりのことです。その結果出場が叶った、十二月に岐阜県で行われた中部日本高等学校演劇大会では奨励賞を受賞しました。この大会ではどなたでも観劇できる環境が整い

■高校演劇部
活動日には、真剣に作品に向き合う部員の姿を見ることが出来ます。一方で、和気藹々とした様子も多く見られ、先輩後輩関係なく部員同士、非常に仲がいいことも特徴です。昨年は、第三十一回国際高校生選抜書展(書の甲子園)にて十五名が入賞・入選し、団体の部で東海地区優勝に輝きました。念願の地区優勝ということで部員一同喜び合いました。書道の魅力は本当に奥が深く、たとえどれだけ学んだとしても尽きるものではありません。その魅力は今後は多くの人に伝えていけるように頑張りたいと思っております。最後に頑張りましたが、部員、指導者ともに日々努力を重ねていきますので応援のほど宜しくお願い致します。

■高校演劇部
活動日には、真剣に作品に向き合う部員の姿を見ることが出来ます。一方で、和気藹々とした様子も多く見られ、先輩後輩関係なく部員同士、非常に仲がいいことも特徴です。昨年は、第三十一回国際高校生選抜書展(書の甲子園)にて十五名が入賞・入選し、団体の部で東海地区優勝に輝きました。念願の地区優勝ということで部員一同喜び合いました。書道の魅力は本当に奥が深く、たとえどれだけ学んだとしても尽きるものではありません。その魅力は今後は多くの人に伝えていけるように頑張りたいと思っております。最後に頑張りましたが、部員、指導者ともに日々努力を重ねていきますので応援のほど宜しくお願い致します。

■高校バトン部
私たちバトン部は、一年生二十四人、二年生十六人、三年生十二人の計五十二人で活動しています。主に個人大会、団体演技に向けて日々練習していますが、文化祭や地域のイベントでの演技披露、野球応援などもしています。

■高校書道部
本年度は十二名が入部し、二十七名でスタートしました。普段の活動は、展覧会に向けた作品制作や文化祭での書道パフォーマンスを行っています。作品制作では、半紙サイズの小さな紙から二メートル以上の大きな紙にも揮毫します。

■高校演劇部
現三年生(旧年度二年生)は、一つ上の先輩がいない状態です。活動してききました。先輩がいないため手探りでの活動が続きましたが、努力を惜しまない部員たちです。そんな彼女たちは「群青アクリウム」という作品で七月に行われた地区大会を突破、九月に行われた県大会では最優秀賞・三重県知事賞・創作脚本賞を受賞しました。トリプル受賞は十年ぶりのことです。その結果出場が叶った、十二月に岐阜県で行われた中部日本高等学校演劇大会では奨励賞を受賞しました。この大会ではどなたでも観劇できる環境が整い

■高校演劇部
活動日には、真剣に作品に向き合う部員の姿を見ることが出来ます。一方で、和気藹々とした様子も多く見られ、先輩後輩関係なく部員同士、非常に仲がいいことも特徴です。昨年は、第三十一回国際高校生選抜書展(書の甲子園)にて十五名が入賞・入選し、団体の部で東海地区優勝に輝きました。念願の地区優勝ということで部員一同喜び合いました。書道の魅力は本当に奥が深く、たとえどれだけ学んだとしても尽きるものではありません。その魅力は今後は多くの人に伝えていけるように頑張りたいと思っております。最後に頑張りましたが、部員、指導者ともに日々努力を重ねていきますので応援のほど宜しくお願い致します。

■高校演劇部
活動日には、真剣に作品に向き合う部員の姿を見ることが出来ます。一方で、和気藹々とした様子も多く見られ、先輩後輩関係なく部員同士、非常に仲がいいことも特徴です。昨年は、第三十一回国際高校生選抜書展(書の甲子園)にて十五名が入賞・入選し、団体の部で東海地区優勝に輝きました。念願の地区優勝ということで部員一同喜び合いました。書道の魅力は本当に奥が深く、たとえどれだけ学んだとしても尽きるものではありません。その魅力は今後は多くの人に伝えていけるように頑張りたいと思っております。最後に頑張りましたが、部員、指導者ともに日々努力を重ねていきますので応援のほど宜しくお願い致します。

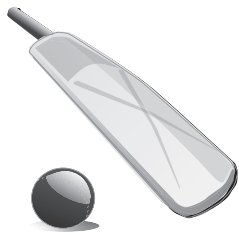
ましたが、たいへんな苦勞を伴いました。新型コロナの濃厚接触者に該当したためリハールに参加できない部員が出たのです。待機期間が明けたのが本番当日。本番に参加することができたのは不幸中の幸いでしたが、まさに綱渡りのような上演でした。その後、三月の春季大会で「たかだかたかだ」という作品を上演し、金賞を受賞しました。

本年度は七月二十九日(土)三十日(日)に白山しらせぎホールで地区大会、九月十六日(土)十七日(日)に三重県総合文化センター中ホールで県大会です。今年こそ、希望できる方みなさまが希望できる環境は整うでしょうか。いや、整えなければならぬと、切に感じています。上演情報はホームページでも随時更新いたします。ぜひ会場までお越しくださいませ。

■高校クリケット愛好会

私たちは、「自分たちのペースで楽しみ、強くなる」をモットーに掲げて活動しています。メンバーは五年生三名、四年生九名の計十二名で、毎年静岡や大阪で開かれる全国大会に向けて楽しみながらも真剣に練習しています。

クリケットというスポーツは世界で四番目に競技人口の多く、特にイギリスやインドでは熱狂的な人気を得ています。しかし、日本では競技人口が約三、〇〇〇人と少なく、認知度も低いいため、道具を集めたり練



習法を探したりする苦勞が多くあります。また、試合では相手がどのよう攻め、守るのかを正確に見極め、こちらの戦略を決めるといふ難しさもあります。しかし、それら乗り越え、試合で一つのアウトを取った時の喜びは言葉では言い表せないものがあります。この喜びこそが、大変なことが多い中でも私たちがクリケットを続ける理由の一つです。また、試合が終わった後には所属するチームに関係なく互いを褒め称え、合同で練習することもあります。その際、外国人の選手と交流すること多いため、実用的な英語を使ったり、日本とは全く違う文化について知ることができたりと、クリケットには異文化交流としての一面があることも大きな魅力です。

このような素晴らしいスポーツであるクリケットができることに日々感謝し、これからもチーム一丸となつてクリケットを楽しみ、盛り上げていきたいと思ひます。

短大だより

令和四年度の進路状況について

キャリア支援センター

樹心同窓会の皆さまには、平素より学生の就職活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和四年度、社会全体ではコロナ禍による混乱からの社会経済活動正常化の兆しに伴い、企業側の採用意欲が回復し始めました。それとともに採用競争が激化し、複数内定を勝ち取る学生と内定を得られない学生との二極化が進んだようです。そのよな中、本学の就職状況が良好であったのは同窓生の皆さまのご支援のお蔭と深く感謝いたしております。さて、令和四年度卒業生の三月末進路状況についてご報告します。

全体では、卒業生274名(昨年度220名)に対して、就職希望者265名(同207名)、就職決定者265名(同205名)、未内定者はなく(同2名)、就職率100%(同99・0%)を達成することができました。また、県外への就職が11名(同6名)と増加し、県内就職率は95・8%(同97・1%)となりました。なお、進学者は2名(同2名)、家事従事・アルバイト等は7名(同11名)でした。

次に学科別の状況についてご説明

◇子ども学科

卒業生185名(昨年度128名)のうち、幼稚園に9名(同6名)、保育所に105名(同66名)、認定こども園に36名(同30名)、児童養護施設に14名(同6名)、社会福祉施設に10名(同3名)、一般企業等に3名(同7名)がそれぞれ就職しました。進学者が1名(同1名)、家事従事・アルバイト等が7名(同8名)で未内定はなく(同1名)、就職率は100%(同99・2%)でした。

専門職としての就職者も全体の97・7%(同94・1%)と高率です。また、市町公務員試験でのべ30名(同13名)が保育士・幼稚園教諭職に合格し26名が正規で、14名(同10名)が会計年度任用職員として就職しました。人口減少に伴う公立保育施設の廃止・統合や民営化により、公務員の募集が減少している中、健闘したと言えます。一方、児童養護施設、放課後等児童施設などの社会福祉施設への就職者が増加しました。

◇キャリア育成学科
オフィスワークコース
卒業生数は65名(同68名)で、製造14名(同5名)、卸・小売業10名(同16名)、運輸・情報通信9名(同5名)、金融・保険8名(同6名)、医療・福祉5名(同19名)、建設4名(同4名)等、計63名(同63名)が一般企業等に、1名が公務(三重県警察)(同なし)に就職しました。進学者は1名(同1名)で、家事従事・アルバイト等(同1名)と未内定

(同1名)はありませんでした。就職率は100%(同98・4%)でした。本年度は医療事務の就職が大きく減少しました。

◇キャリア育成学科
介護福祉コース

卒業生24名(同24名)のうち、老人介護施設に19名(同21名)が、障がい者施設に4名(同2名)が、一般企業に1名(同1名)が就職しました。家事従事・アルバイト等、進学者未内定は、いずれも昨年度同様ありませんでした。なお、卒業生のうち、外国人留学生は17名(同21名)でした。

求人状況については、本年度、保育所・幼稚園・児童養護施設から1,033人(同1,054人)、一般企業から553人(同566人)、福祉(老人・障害)施設から202人(同201人)の求人がありました。総数としてはやや減少しているものの、依然として保育関連、企業、福祉施設とも売り手市場の状況は変わっていません。

結びに、社会に出た後輩たちを暖かく見守り、厳しくご指導賜りますようお願い申し上げます。キャリア支援センターからの報告といたします。

◆短大部会だより◆

北 端 一 子

家の小さな庭ですが、東側に花壇のスペースがあります。毎年初夏と秋に花を植え替えています。小さな花が、大きくなっていく様を見るのが大好きです。枯れた花は、その

視全国大会入賞

「諦めなかったからこそ
見えた景色」

中学放送部 上子地 奏葉

都度取り除かなければ、次の花が育ちません。取り除いた花は、土の中へ、植え替える時にも同じように、今までの花を細かくして土の中へ入れられます。いつの間にか土の一部になっていきます。今度は、どの花を植えようかと考えながら店にいきます。花壇の中には、大きく育つ「ひまわり」は、適しません。やっぱり「ペゴニア」にしようと決めました。花の色がいろいろあるので、にぎやかにになります。「ペゴニア」は、挿し木が出来るから好きです。大きく育つたら切って植えると根が出てまた大きな株になります。土と肥料を混ぜて、おおきく育つように祈りながらの作業です。楽しいですよ。みなさんもぜひ花を育てましょう。

短大会ですが、ようやく役員会を開くことが出来ます。小さな子を育てている役員、仕事をしている役員、子育てが終わり、趣味を楽しんでいる役員、いろいろな環境の中の生活に、同窓会を育てているという仕事が変わります。年齢も大きな差があり、話が合わない時もありますが、話をしていく中でまとめていきます。これからは、携帯のラインでのやり取りより、顔を見ながら話が出来ると喜びを、楽しんでいきたいと思えます。なるべく全員が揃う日を考え、進めていきます。少しでも同窓会活動が活発になっていくことを考えながら頑張ります。皆さんの意見も短大までお知らせください。



ずばりに頑張っていたいんです。

NHK杯全国高校
放送コンテストを終えて

高校放送部 五年 杉村 乃惟

コロナ禍で大会が中止になった一昨年、予選止まりとなった昨年の悔しさをバネに、今年、私はラジオ番組部門で念願のNHK杯全国中学放送コンテストの決勝大会への進出を果たしました。

定期テスト前で部活が休みになる直前、私はある決断をしました。それは、大会に作品を出すのを諦めるということ。やるべきことを後回しにしてしまっていたため、締切り日に間に合わない状態でした。

これまで協力してくださっていた沢山の方々への申し訳なさでいっぱいになり、頭を抱えていたところ、顧問の先生が声をかけてくれました。「せつかくここまで頑張ってきたんだし、僕も協力するからもうひと踏ん張りしてみよう。」

この言葉で、私は作品を大会に絶対間に合わせると決意しました。テスト勉強の合間を縫って制作した、私たちのラジオ番組。その道のりは平坦ではありませんでしたが、決勝進出が決まった時には嬉しさと胸がいっぱいになりました。そしてあの時諦めなくて良かったと心から思いました。

このような貴重な経験ができたのは、私一人の力では絶対ありません。周りの方々への感謝の気持ちを忘れ

準備という結果は私たち放送部にとつて過去最高の成績で、高田高校放送部の歴史に名を刻めたことを本当に誇りに思います。正直、準備は驚きの結果でした。ですが、今振り返ると私たちの作品は準備という結果に値するのだと自信を持って言えます。

今回私たちは「先生の書く連絡が読みにくい」というテーマでドキュメントを作りました。実際に文章専門家の山口拓郎さんや大阪市港区長の山口照美さんへの取材などを通して読みやすい連絡はどのようなものかを調べました。とは言え、今思うとかなり先生方に反抗的なテーマで、協力してくださった先生方、特に読みにくいメールを番組内で使うことを快く許可してくださり、インタビューにまで答えてくださった某A先生には頭が上がりません。

制作する途中、上手くいかず、意見がぶつかってしまいうようなこともありましたが、先輩方とドキュメントを作る毎日には楽しかったんです。先輩方には本当にお世話になりました。もう一歩で全国優勝という結果だったので来年は先輩の分もがんばって優勝を目指します。



令和四年度愛媛インターハイに
出場して

柔道部 小口 静愛

令和四年八月十日(水)愛媛県松山市の愛媛県武道館で行われた、第七十一回全国高等学校総合体育大会柔道競技女子個人戦に出場しました。結果は、第五位(ベスト8)に入賞することができ、今春日本武道館で行われた全国高校柔道選手権大会に続いての第五位入賞となりました。

中学校時代には新型コロナウイルスの影響で全国大会が中止となり、小学校以来の全国大会出場でした。私自身の実力がどの程度なのか手探りの試合でしたが、入賞することができ、自信がつくとともにもっとできると改めて気合が入りました。

この経験からさらに上を目指したいと強く思い、毎日の稽古にも熱が入っています。常に自身に高いハードルを課し少しでも限界に近づき、今よりも一つでも上位に上がれるよう取り組んでいます。

今回このような成績を取めることができたのは、樹心同窓会の方々や学苑長をはじめ教室でお世話になっている先生方の応援のおかげだと感謝しております。

次はもっと良い報告ができるよう頑張ります。応援よろしくお願ひします。

応援の力、感謝の気持ち

中学なきなた部 3年 九鬼 希美

中学二年の時に、嬉しいことにJOCジュニアオリンピックカップ全

国中学生なきなた大会に出して頂くことになり、「勝とう!」と頑張って勢いよく、遠い鹿児島まで電車を何度も乗り換えて行きました。しかし全国の壁は高く、試合に負けた直後は悔しさ余り挫折しそうになりました。しかし、私達を代表に選んで下さった先生方や応援してくれる仲間、に恩返しを何もしない、このまま終わるわけにはいかないと、ペアの藤田さんと来年のJOCこそ優勝しようと誓いました。

日頃の練習は楽なものではありませんでしたが、優勝に向けて続けた努力、特に大会前一ヶ月の朝練での先生からのご指導が自信になり、優勝という結果につながったように思います。

切磋琢磨してくれる先輩後輩同期、県内大会で共に戦った仲間達、コロナ禍にも関わらず地元三重で無事に大会を開催してくださった協会の方々、ご指導くださる先生、応援してくれる友達やOGの先輩や先生や家族、たくさんの方のおかげで全国優勝が達成できたと思います。ありがとうございました。

「優勝」で伝えたい感謝

中学なきなた部 3年 藤田 結莉

優勝の瞬間、試合の緊張が抜けず、実感を持っていませんでしたが、周りの方から「おめでとう」の声をかけられて初めて安心し、嬉しさがこみ上げてきました。顧問の窪田先生に「優勝」という出産祝いを贈りたいと思っていたので、達成できて嬉し

私は先輩の姿に憧れてなぎなた部に入部し、なぎなたを始めました。二年までは演技を理解せず、形だけを求めています。三年になり全中優勝を現実目標とするようになって意識が変わりました。二人の気持ちを通じ合い手応えを感じたのは試合直前。納得できる演技が徐々に増えていきました。試合当日は今までにない緊張に襲われてしまいました。が、応援してくださる地元役員や観客の方の声や姿が支えとなり、二人で呼吸を合わせて落ち着いて演技をする事ができました。

「三年間の集積」

文芸部

岸本 花梨
長崎 桃子
藤田 沙羅

私たちは、七月二十七から二十九日にかけて盛岡市で行われた全国高校生短歌甲子園に出場しました。三年間、コロナウイルスの影響で書類審査が続いていたので、久方ぶりのそして私たちにとっては初めての顔を合わせての大会でした。

六年生という高校最後の年に、リモートではなく開催地まで行き、様々な地域の同年代の方々とも交流が出来て、とても得難い経験となりました。今まで短歌には楽しい思い出も、苦い思い出もたくさんありますが、このように最高の部活の引退ができて嬉しく思います。

夜遅くまで短歌作りに付き合い、大会でも見守ってくださった顧問の箕田先生、切磋琢磨しあった文芸部の部長たち、応援してくださった方々には感謝してもきれません。六年生になって練習をする時間がとれない中ここまで来ることができたのは、今まで積み上げてきたもののお陰です。これらも今までの文芸活動を生かし、様々なことに繋げていきたいと思っています。

〈団体戦優勝作品〉

3年 長崎 桃子

嬰兒の名の由縁たれ

幼子の丸き瞳は

風を映す

3年 藤田 沙羅

震えつつぎゅっと掴めば

君の手も脈も丸ごと

私の熱だ

3年 岸本 花梨

差し込んだ西日が窓を貫いて

あなたの肩の丸みに

とける

ラストチャンス

馬術部 吉永 真由子

高田高校に入学が決まったときから団体と同様に全日本ジュニア選手権への入賞を目標としてきました。しかし、技術不足や新型コロナウイルスの影響で出場権利すら獲得する

ことが出来ず、悔しくてたまらない二年間でした。愛馬アスワドも私の心の焦りを感じ取り、息が合わず失敗を繰り返す日々で何度も涙しました。それでも根気よく指導頂いた監督やコーチ、そして馬術部の仲間が支えてくれたお陰で、高校最後の年に出場権利を獲得し山梨での本選へ向かう事が出来ました。

日本のトップクラスの選手たちとの三日間の戦いでした。愛馬アスワドは二十四歳と高齢で輸送やハードなコースに苦戦すると思っていました。が、未熟な私を背に最高のパフォーマンスを見せてくれ、出場選手中六十%のみが進める決勝に上位で進む事が出来、標準飛越競技では七位に入賞し生涯忘れる事のない最高の大会となりました。応援して頂いた全ての方に感謝致します。

「全国大会が終わって」

放送部 六年 生杉 綾香

私は、第六十九回NHK杯全国放送コンテストアナウンス部門に出場しました。六月の三重県大会から、七月末に東京で行われた準決勝まで、貴重な経験をさせていただきました。

この作文を書く前に、私はちょうど一年前に、この同窓会誌に書いた作文を見返しました。成績面から見ると、去年からさらに伸ばすことはできなかった私ですが、その作文に、「コロナウイルス蔓延のため高1の代に中止となり、はじめて参加することが出来た喜び、アナウンスをする楽しさ、そしてこれから部長とし

ての責任を感じる」と、書いてあったのを読んで、今、あの時よりは、成長出来ているなと感じることが出来ます。

アナウンスの難しいところは、審査する人によって良いものが異なることだと感じます。絵を見た時に、綺麗な写真のような絵が素敵と思う人も、メッセージ性を重視したのか、一見適当な絵に何かを見いだし、素敵だと思ふ人がいるのと似ています。それでも私がこれまで中学から約六年間、放送部でアナウンスをしてい

るのは、この曖昧な所に魅力があると、感じてきたのだと思います。今年の大会は、音声録音による非公開審査だった去年から、規制が緩和され、全国大会は東京に向かい、審査員を目前にした審査でした。新型コロナウイルスの流行に左右された部活動でしたが、最後の年に通常に近い形に戻ってくれたことがなにより嬉しかった事です。

毎日、たった一分三十秒間の原稿と向き合い続けた道のりを、今、笑顔で思い出せるのは、六年間共に楽しく活動してきた仲間や、最後の大会まで私より真剣に向き合ってくださった顧問の先生方のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、この経験を他へ生かし、頑張っていきたいと思っています。

最後に、樹心同窓会の皆様にはいつもたくさん応援をいただきました。卒業後、ありがとうございます。卒業後は、私もその一員として何か恩返しができると思います。

前の人のアナウンスが終わわり、いよいよ自分の番。スポットライトに照らされたスタンドマイクの前に立ち、深く深呼吸をしました。会場には張り詰めた空気が漂い、夏なものもかわらず涼しく感じたことを覚えていきます。全国大会にも関わらず、私はなぜかあまり緊張せず、「私の部活人生は、あと九十秒で終わるのか。」大勢の観客や審査員を前にふとそんなことを考えていました。私が放送部に入部したのは、高校一年生の時です。何部に入ろうか迷っていた私に濱口先生が声をかけてくださり、入部を決意しました。

「全国大会を振り返って」

放送部 六年 増田 結衣

放送部での活動は本当に楽しく、体育祭や文化祭の司会進行に加え、ドラマやドキュメンタリー番組を作ったり、団体や医学会などの司会をしたり、たくさんの貴重な体験をさせて頂きました。高校三年生では、副部長・アナウンス部長を務め、後輩に教える難しさを感じました。

今回出場したNHK杯全国高校放送コンテストでは全国大会のレベルの高さを知り、振り返ると、最後の最後まで多くのことを学ばせてもらう部活だったなと思います。

また、全国という舞台でこのような栄えある賞を頂くことができ、とても嬉しく思っています。顧問の先生方を始め、三年間一緒に頑張ってきた友達やお世話になった方、樹心同窓会の皆様には感謝をしてもしきれません。

最後になりましたが、ここで恩師

の濱口先生にお礼を言わせて頂きたいと思えます。毎日、朝早くから夜遅くまで練習に付き合ってください、本当にありがとうございます。本当は先生に決勝の舞台を見せたかったけれど、先生が私の納得のいくまで練習させてくださったおかげでこれ以上ない達成感を感じることができました。この経験を糧に、これからも頑張っていきたいと思えます。

卒業にあたって

卓球部 前出 陸杜

三年間、高田高校でお世話になりました。ありがとうございます。

私が入学した二〇一九年は、コロナ禍でインターハイなどの全国大会が中止になった年でした。

振り返るとあつという間の高校生活だったと感じます。

小学校の頃から卓球をはじめ、今まで様々な方々に支えられここまで来ることができました。普段支えていただいている家族や、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

卓球を通して、三年間苦しいことや辛いこともありましたが、その分成長でき、目標に向かってがんばることが出来ました。また、在学中に日本代表として日の丸をつけてプレーすることが出来たのは、これからの自分の中でも大きなことであつたと感じています。

卒業し、これからは三重県を離れることとなりますが高田高校の卒業生であることの誇りを胸に、大学に進学しても精一杯頑張りたいと思えます。

会員だより

第一回樹心カップ

優勝の挨拶

昭和五十六年高校卒業

中森 英夫



コンペ開催にあたり、ご尽力頂きました同窓会事務局の方々に、感謝申し上げます。

第一回コンペの優勝者となり、一言で気持ちを表すならば……「プレー」でしょうか。(笑)

十二月のプレーとなりますので、寒さ覚悟で当日をむかえましたが、日中は十一月中旬の陽気になり、懐かしい先生方にもお会いでき、楽しい一日となりました。

今回は一打でもスコアを縮められる様に、頑張りたいと思えます。

これからも多くの会員の方々に参加して頂き、楽しいコンペが開催される事を希望しています。

高田学苑開校 一五〇周年「思うこと」

中学三年昭和五十年卒

曾 我 嘉 範

令和四年十月二十四日、周年行事があると知り、久しぶりに参加しました。昔の校舎等のビデオを見て歴史を感じた後、国宝の本山建物内の普段は立ち入れない部屋と庭園を見学し、その広さに驚きました。

同席していた事務局長の前川先生にお願いし、同級生数名と卒業後初めて校舎内に入れてもらいました。

お昼休みの校内放送で懐かしい「集会」のメロデーが流れ、鷲尾校長先生に案内された講堂内に掲げられていた「南无弥陀佛」と「堂學勸」を見た時、在学当時から堅いイメージと自由な校風があつたのを思い出



しました。

同窓会事務局前のテーブルでコーヒを飲んでいた時、隣の体育館で当時はなかったダンスの授業が始まりました。女子生徒の笑顔が印象的でした。

クラブについては、十人未満で立ち上げた男子バスケットボールが、今や男女計五十人で活動とのこと、嬉しい限りです。

制服が変わったのと校舎の新築のことは知ってはいましたが、実際に行って見てその新しさと明るさに感動しました。

長い伝統を大事にしながら、変化にも対応している学苑に誇りを感じます。これからの更なる発展を見守りたいと思えます。

最後に、周年の企画をされた方々、同級生の前川さんと鷲尾さんに感謝いたします。ありがとうございます。



昭和五十六年中六卒業 中村 雅人

昭和三十七年一三十八年生まれの高田六年コース十二期生は今年還暦を迎える節目の年に記念同窓会を開催しました。

私たちが六年間お世話になった担任教師であり、六年コース一期生の大先輩でもある長谷川博先生を来賓に迎えホテルグリーンパーク津を会場に、二時間という短いながらも濃密な楽しいひと時を過ごしました。

同期生からは松阪市長(竹上真人君)や三重県知事(一見勝之君)も輩出しており、それは私たち同期の誇りでもあります。

樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様

令和 4 年度

卒業年度順 (敬称略)

Table listing members who contributed to the fund in the 4th year of Reiwa, including names like 立芳 (中3 S26) and 藤清 (高校 S28).

令和 5 年 3 月 31 日現在

Table listing members who contributed to the fund as of March 31, 2023, including names like 大坪すま (短大 S48) and 匿名希望 (短大 S48).

●ご協力いただき誠にありがとうございます●

協 賛 企 業 一 覧

(五十音順)

令和 5 年 6 月 10 日現在

Table listing sponsors in alphabetical order, including 愛知 (株), アインズ (株), and 荒川制服 (株).

Table listing sponsors in alphabetical order, including 東海土建 (株), 東邦ガス (株), and 富士フィルム (株).

二〇二三年一月二日(月) ホテル津センターパレスにて、一九七八年(S五十二年)高中三年制卒生同窓会を三年ぶりに開催しました。柔道

昭和五十三年中三卒業 西井晴彦

でお世話になった岡野英治先生(超お元気!)をお迎えして総勢三十四名での宴でした。前回、二〇二〇年一月に開催後、アツと言う間に、コロナ禍の出口の見えないトンネルに入り、今回は第八波が迫る中での開催でした。ご参加される皆様も、ワクワク気分と共に不安も多かったことでしょう。幹事としては、ワクワク気分と共に(無事、当日を迎えられます様にと)ヒリヒリした気分を抱えていただけに、ドタキャンも無く、ご参加予定者全員が集えたことは嬉しい限りでした。参加したい

ものの、職場から会食自粛要請で席を断念しなければならなかった方々がおられる一方、東京から宿直明けて駆け付けていただいた君、兵庫県から日帰りのF君、福岡県から車で帰省されたKさん等、遠路遙々ありがとうございます。

お互いにモチベーションがアップし、パワーを与え合う話題が多くありました。正に、人生一〇〇年時代!やはり、楽しい時間は、アツと言う間に過ぎるものです。名残り惜しつ、締め挨拶、集合写真、散会の運びとなりしました。次回は、同卒六年制の皆様と合同開催の構想があります。その折には、コロナ禍も完全収束し、皆様が不安無く集える様、幹事一同、切に願っています。最後にになりましたが、皆様のご健康とご多幸を願いつつ、拙文を終えさせていただきます。



事務局だより

「ミニ同窓会」を応援します。

詳しくは、高田学苑樹心同窓会ホームページをご覧ください。ぜひとも、ミニ同窓会を開催してメッセージを事務局までお知らせ下さい。また、会員様の親睦を図るために、「交流会」を開催いたしますので、

今後のホームページをご覧ください、是非ともご参加下さい。

〈今後の予定〉令和五年

十月 俳句大会

十二月六日(水)

第二回樹心カップ



高田学苑樹心同窓会HP QRコード



令和5年度

高田学苑樹心同窓会総会

令和5年8月6日(日) 午後3時~6時

総会 ホテルグリーンパーク津 (津駅前アスト津内)

6階 中宴会場

懇親会 ホテルグリーンパーク津 (津駅前アスト津内)

6階 大宴会場 (伊勢の間・安濃の間)

会費 3,000円

- 総会・追弔会
○懇親会
○結城さおり with スワンダフル デュオ クインテット

※お車で越しの方はアスト駐車場をご利用下さい。
※お酒が出ます。飲まれる方はお車での参加はご遠慮下さい。

- 鈴木正明 藤井徳雄 神田經二 中川徹嗣 奥山徹康 安藤重仁 (中・高)
古川久美子 (短大)

令和4年度退職教職員

ふるさと津かがやき寄附 『三重短期大学及び私立学校応援分』 の寄附募集の開始

令和4年4月26日より津市のふるさと納税では、ふるさと津かがやき寄附「三重短期大学及び私立学校応援分」の寄附募集が始まりました。これにより、津市以外の居住の方が津市内の短期大学及び私立学校を指定して寄附ができるようになりました。この制度を利用して高田短期大学、高田高等学校の応援をよろしく願いたします。寄付金につきましては、教育環境整備事業に活用させていただきます。詳細は津市のWEBサイトをご覧ください。

津市-ふるさと津かがやき寄附(ふるさと納税) city.tsu.mie.jp

訃報

※経年のご連絡分も含みます

Table listing names and dates of deceased members, including 樋村 廻菜穂, 塩田 真也, 吉道 邦道, etc.